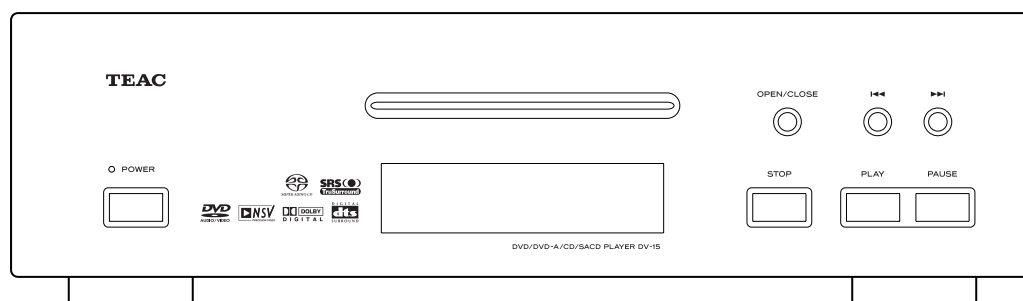
D00767400A

TEAC

取扱説明書

DV-15

DVD/DVD-A/SACD/CDプレーヤー

お買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

目　次

準　備

初めてお使いになるときは

再　生

各種設定

音声の設定

映像の設定

言語の設定

その他

この取扱説明書で使っている記号について
注意：ディスクによっては機能しないことがあります。

- **DVD**：DVDビデオで使う機能
- **VCD**：ビデオCDで使う機能
- **CD**：音楽用CDで使う機能
- **SACD**：SACDで使う機能
- **MP3**：MP3のディスクで使う機能
- **DVD-A**：DVDオーディオで使う機能

本機は*ドルビーデジタルデコーダーおよび**DTSデコーダーを搭載しています。

*：ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

**：DTSは米国Digital Theater Systems,Inc.の登録商標です。

本機はバーチャル技術として、SRS社のTruSurround方式を採用しています。
SRS TruSurround は SRS Labs, Inc. の商標です。TruSurroundの技術は、SRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

本機の映像出力には、米国Analog Devices社製の新NSV(Noise Shaped Video)技術により構成された高性能12bit108MHz映像6chDAC ADV7300Aを搭載しています。
新NSV技術は、マルチビット・デルタシグマ回路の技術でビデオノイズ成分を 不要帯域に追いやることにより、アナログフィルターによって情報を損失することなく効果的にノイズを除去し、映像信号の高いリニアリティと低ノイズ特性を実現しています。
NSVは米国Analog Devices, Inc.の登録商標です。

この製品にはマクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

一般的な注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

行為を指示する記号

電源プラグをコンセントから抜け

一般的な強制

警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

万一、異常が起きたら

煙が出たり、変なにおいや音がするときは。
機器の内部に異物や水などが入ったときは。
この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。

すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

電源コードを傷つけない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。
コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。

電源プラグにほこりをためない。
電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

交流100ボルト以外の電圧で使用しない。
この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

通風孔に異物を入れない。
内部に金属類や燃えやすいものなど異物が入ると、火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。
内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

通風孔をふさがない。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

この機器のカバーは絶対に外さない。
カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。

この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。
ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

安全にお使いいただくために

<table>
<tr><td colspan="2">⚠注意　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。
また、接続は指定のコードを使用する。</td></tr>
<tr><td>電源を入れる前には音量を最小にする。
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
湿気やほこりの多い場所に置かない。
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。
火災・感電やけがの原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td>電源コードを熱器具に近付けない。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</td></tr>
<tr><td>ディスクの挿入口に手を入れない。
特にお子様にはご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</td></tr>
<tr><td>旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。</td></tr>
<tr><td>お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。</td></tr>
</table>

使用上の注意

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源コード×1
リモコン×1
リモコン用乾電池(単3)×2本
オーディオビデオケーブル(RCA)×1本
取扱説明書×1

使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。上に布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上に置かないでください。本機の通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- ガラスドア付きラックに設置した場合、ガラスドアを閉めたままリモコンのオープン/クローズボタン(⏏)を押してディスクトレーを開けないでください。強い力でディスクトレーの動きが妨げられると、故障の原因になります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所に設置してください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。そのため本機をVTRを通してテレビに接続したりVTRで録画して再生をすると、正常な再生画像が得られない場合があります。

外部に接続した機器で録音する時の注意

- デジタル音声出力端子に接続した機器で録音するときは、初期設定画面の音声出力(48～50ページ)を"PCM"に設定してください。
- ディスクによってはコピー禁止信号の入っているものがあります。コピー禁止信号の入っているディスクの音声をデジタル信号のまま録音することはできません。
(音声をアナログで録音することは可能です)

ディスクについて

下の表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。本機はこの表のディスクをアダプターなしで再生することができます。
この表のディスク以外は再生できません。

本機で再生できるディスクの種類とマーク

上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- 故障などを防ぐため、8cmアダプター(CD用)は使わないでください。
- DVD-ROM、CD-ROMなどは再生できません。
- コピーコントロールCDなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

DVDのリージョンNo.について

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。
本機のリージョンNo.は**2**です。

再生できるディスクの例

再生できないディスクの例

DVD-Rについて

本機はDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-Rを再生することができます。

DVD-RWについて

本機はDVDビデオフォーマットまたはビデオレコーディングフォーマットで記録されたDVD-RWを再生することができます。

- 1回だけ録画可能な映像素材を録画した部分(コピー禁止部分)を本機で再生することはできません。画面に"COPY PROTECT PROGRAM, UNPLAYABLE"と表示されます。
- DVDレコーダーで録画/編集したディスクを再生すると、画面が一瞬静止したり、編集位置が多少ずれることがあります。

CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、またはMP3の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダー/DVDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。

ディスクの品質、記録の状態によっては再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

MP3について

本機はCD-ROM、CD-R、CD-RWに記録された「MP3ファイル」を再生できます。パソコンなどを使ってMP3のディスクを作成する際は、使用するソフトの説明をよくお読みください。

● MPEG1オーディオレイヤー3の、サンプリング周波数44.1kHzまたは48kHzの固定ビットレートで記録されたディスクしか再生できません。

● MP3ファイルの認識はファイル拡張子「.mp3」で行いますので拡張子には必ず「.mp3」をつけてください。

● 拡張子「.mp3」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」をつけていてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。

● ファイル名には半角英数文字(1バイト文字)を使ってください。ファイル名に全角文字(2バイト文字)を使うと、画面での表示が文字化けしたり、再生できないことがあります。本機は半角で8文字まで表示できます。

● フォルダーとファイル数の合計が250を超える場合、251以降のフォルダー/ファイルは再生できません。

● 可変ビットレートには対応していません。可変ビットレートで記録されたディスクは、時間表示が狂うなど、正常に再生できないことがあります。

● マルチセッションには対応していません。最初のセッションのみ再生します。

● ディスクの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れることがあります。

ディスクの操作について

DVDディスクでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作が出来ないことがあります。本機では、ディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に禁止マークを表示します。また、メニューや再生中の操作によって対話的な操作が可能になっているようなディスクでは、ディスク全体が連続的でなく枝別れがあるため、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合も画面に禁止マークを表示します。

ディスク禁止マーク：
プレーヤーによる禁止マーク：

● 連続してボタンを押すと、機械側が対応できずに禁止マークを表示することがあります。ボタンを押すときは、機械が反応するまで少しお待ちください。

準備

ディスクについて

ディスクの構成について

CD・SACD

トラック1　トラック2　トラック3　トラック4

♫♫　♪♫　♪　♫♫

ビデオCD

トラック1　トラック2　トラック3　トラック4

CDやビデオCDではディスクをトラックという単位で分けています。(一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また更にトラックがインデックスという単位で分かれている場合もあります。)

DVDビデオ

タイトル1　タイトル2

チャプター1　チャプター2　チャプター1　チャプター2

DVDビデオではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、メニュー画面はどのタイトルにも属しません。映画などではふつう1つの映画が1つのタイトルに対応しています。カラオケディスクでは1曲が1タイトルとなっています。ただしこのような区切りになっていないディスクもありますので、サーチ機能やプログラム機能を使用する際にはご注意ください。

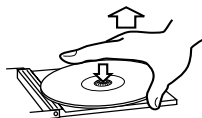
DVDオーディオ

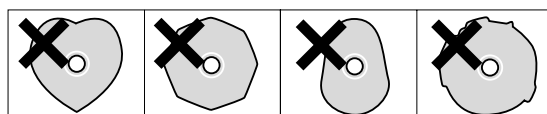
DVDオーディオではディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています。(一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また更にトラックがインデックスという単位で分かれている場合もあります。)

ディスクの取り扱い

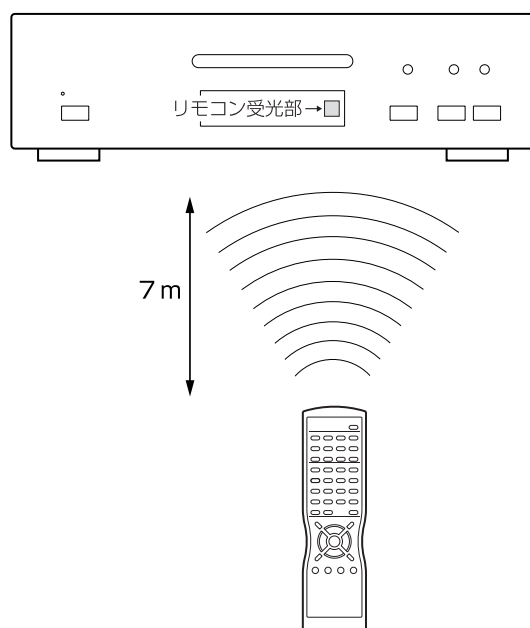
- ディスクはレーベル面を上にしてセットしてください。
- ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

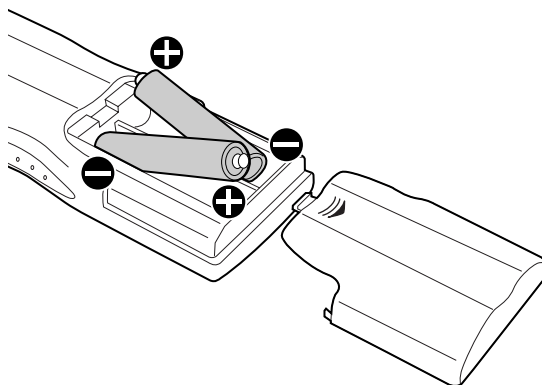
取り出し方

ディスクの正しい持ち方

- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。
  ディスクの汚れは画質・音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には放置しないでください。
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
- 再生が終ったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- ディスクにラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

リモコンの使い方

使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させせることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、⊕と⊖の向きを確認して乾電池(単3形)2本を入れてから、フタを閉めてください。

電池の交換時期は…

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

電池についての注意

⚠ **乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。**

- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

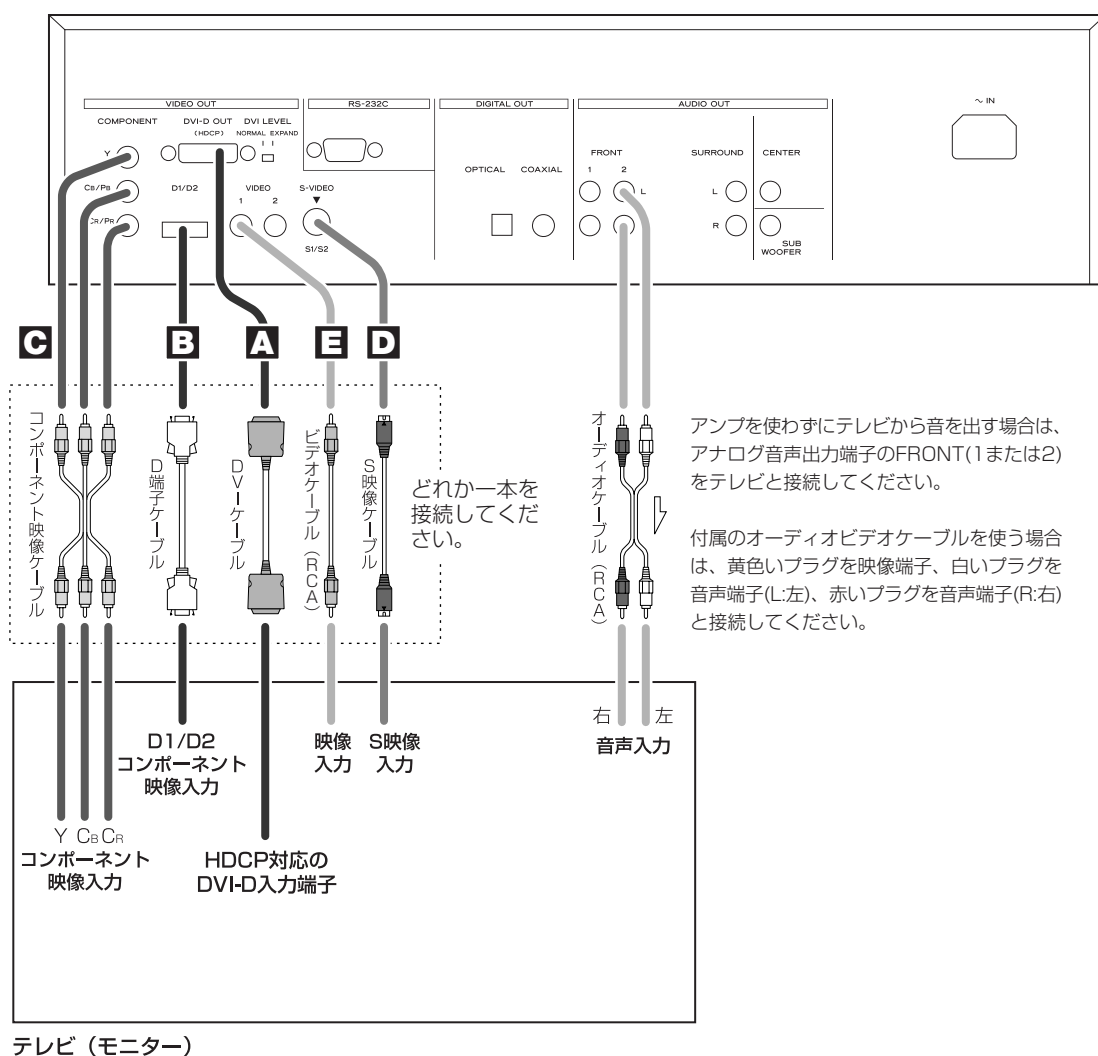
準備

テレビとの接続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

アンプを使わずにテレビから音を出す場合は、アナログ音声出力端子のFRONT(1または2)をテレビと接続してください。

付属のオーディオビデオケーブルを使う場合は、黄色いプラグを映像端子、白いプラグを音声端子(L:左)、赤いプラグを音声端子(R:右)と接続してください。

● 接続したテレビに合わせて、映像の縦横比(アスペクト)を切り換えてください。(56ページ)

● コンポーネントビデオ端子またはD1/D2端子をプログレッシブ対応テレビと接続した場合は、コンポーネント出力の設定を"プログレッシブ"にすることができます。(57ページ)

● 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。そのため本機をVTR(ビデオデッキ)を通してテレビに接続したりVTRで録画して再生をすると、正常な再生画像が得られない場合があります。**本機の映像出力は、VTRを通さずにテレビと直接接続してください。**

A DVI-D映像出力端子

テレビ(モニター)にHDCP対応のDVI-D入力端子がある場合は市販のDIVケーブルを使って本機のDVI-D映像出力端子と接続してください。きれいな画像を楽しめます。

DVI LEVEL スイッチ

DVI-D映像出力端子に接続した場合、テレビ(モニター)の種類によっては黒が浮くことがあります。このようなときはスイッチを[EXPAND]にしてください。

DVI LEVEL
NORMAL EXPAND

出力映像データの範囲
NORMAL : 16(黒)~235(白)
EXPAND : 0(黒)~246(白)

DVI出力フォーマット（NTSC再生時）

システム : 480/60p（プログレッシブ）
解像度 : 720 x 480
垂直周波数 : 60Hz
水平周波数 : 31.5kHz

● 本機のDVI出力映像をご覧になるにはHDCP対応のDVI入力をもったテレビ等が必要となります。HDCPに対応していない機器に接続した場合は、映像が出ない場合があります。

● 本機と接続する機器のDVI-D端子の詳細については、その機器の取扱説明書をよくお読みください。

B D1/D2映像出力端子(コンポーネント)

テレビ(モニター)にD映像入力端子(D1, D2, D3, またはD4)がある場合は、市販のD端子ケーブルを使って本機のD1/D2端子と接続すると、コンポーネント映像端子と同等のきれいな映像を楽しめます。

D端子の種類と対応する信号フォーマット

	480i (525i)	480p (525p)	1080i (1125i)	720p (750p)
D1端子	○	×	×	×
D2端子	○	○	×	×
D3端子	○	○	○	×
D4端子	○	○	○	○

(　)内は走査線数で数えたときの別称です。
i : インターレース(飛び越し走査)
p : プログレッシブ(順次走査)

C コンポーネント映像出力端子

テレビ(モニター)にコンポーネント映像入力端子(COMPONENT VIDEO IN)がある場合は、市販のコンポーネント映像ケーブルを使って本機のコンポーネント映像出力端子(COMPONENT VIDEO OUT)と接続してください。きれいな映像を楽しめます。

● ハイビジョン対応のコンポーネント(Y/P_B/P_R)映像入力端子と接続することはできません。

D S映像出力端子

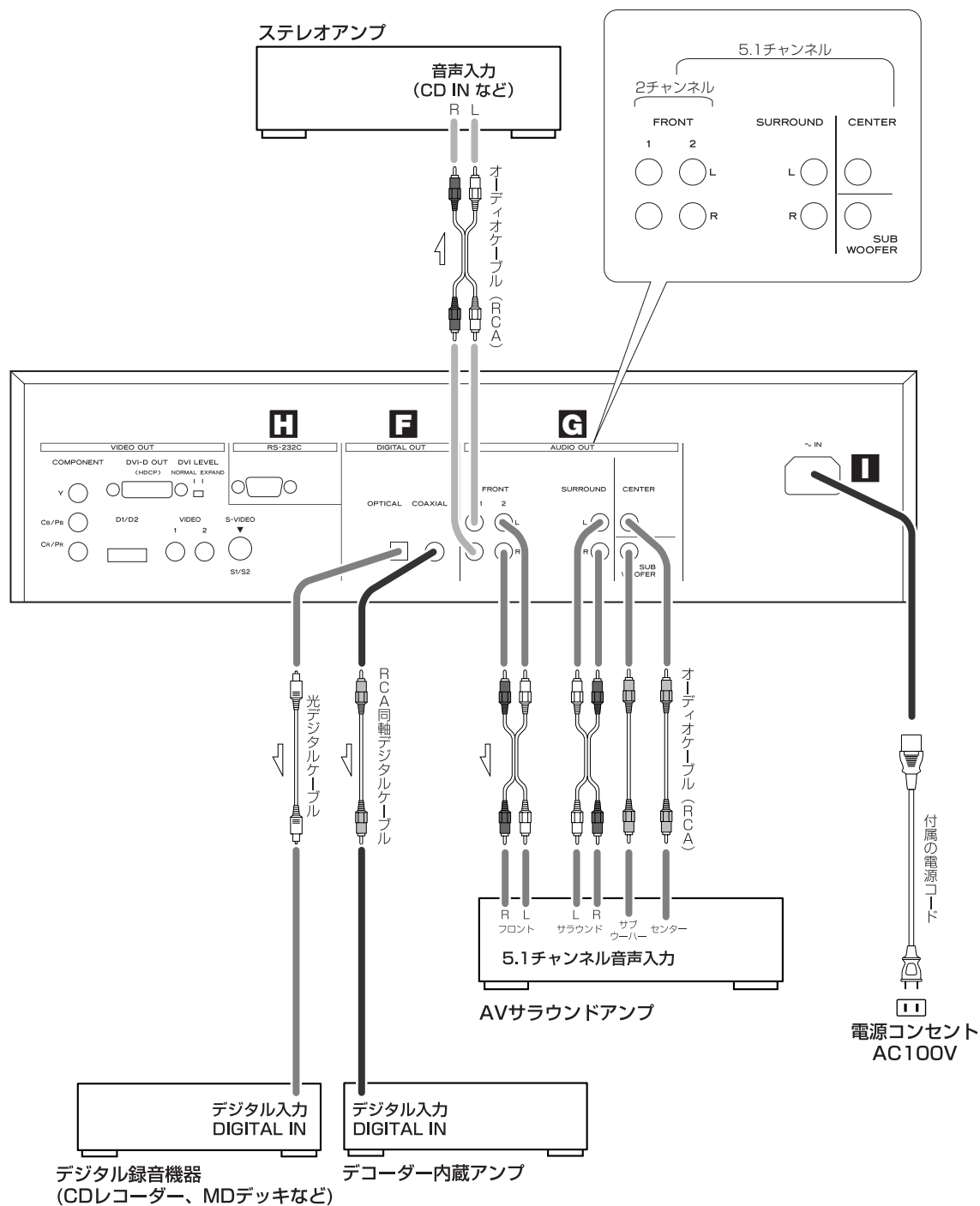
コンポーネントビデオ入力端子またはD端子がないテレビ(モニター)で、S映像入力端子(S-VIDEO IN)がある場合は、市販のS映像ケーブルを使って本機のS映像出力端子(S-VIDEO OUT)と接続してください。

E 映像出力端子

テレビ(モニター)に映像入力端子(VIDEO IN)しかない場合は、市販のビデオケーブル(RCA)を使って本機の映像出力端子(VIDEO OUT)と接続してください。

アンプとの接続

⚠ 接続時の注意

● 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
● 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

F デジタル音声出力端子

本機のデジタル出力端子(COAXIALまたはOPTICAL)を、デコーダー内蔵アンプやデジタル録音機器(CDレコーダーなど)のデジタル入力端子と接続します。

接続には市販のケーブルをお使いください。
COAXIAL : RCA同軸デジタルケーブル
OPTICAL : 光デジタルケーブル(TOS)

● 本機の光デジタル端子はシャッター式です。接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと、端子が変形してシャッターが閉まらなくなることがありますのでご注意ください。

G アナログ音声出力端子

5.1チャンネル
アンプに5.1チャンネルのアナログ音声入力端子がある場合は、FRONT(1または2)、SURROUND、CENTER、SUBWOOFER端子を市販のRCAオーディオケーブルで接続してください。

2チャンネル
5.1チャンネルのアナログ音声入力端子がない機器(ステレオアンプ、テレビなど)と接続する場合は、2チャンネルの端子(FRONT 1または2)を使います。市販のRCAオーディオケーブルを使って、本機のR端子とアンプのR端子、本機のL端子とアンプのL端子をそれぞれ接続してください。

● 5.1チャンネルの端子を使うときは、セットアップナビゲーターまたは初期設定画面で、アナログ端子(音声出力)の設定を"5.1チャンネル"にしてください。2チャンネルの端子しか使わないときは、"2チャンネル"に設定してください。
● 初期設定画面で音声出力の設定を"5.1チャンネル"にした場合、2チャンネルの端子(FRONT)からは5.1チャンネルのうちのフロントL/Rの音声だけを出力します。
● 最適なサラウンド効果を得るためには、6本のスピーカー(フロント×2、センター×1、リア×2、サブウーハー×1)が必要です。

H RS-232C端子

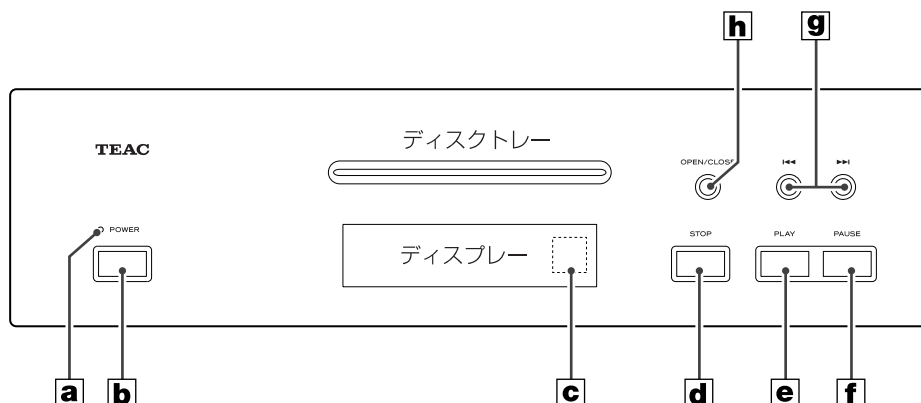
業務用の有線リモコンなどを接続するための端子です。

I 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

⚠ 付属の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

● DVDビデオのマルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには F デジタル音声出力端子または G アナログ音声出力端子(5.1チャンネル)をアンプと接続してください。
● DVDオーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力されません。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには、G アナログ音声出力端子(5.1チャンネル)をアンプと接続してください。
● DVDオーディオの192kHz/176.4kHz音声は、96kHz/88.2kHzまたは48kHz/44.1kHzに変換して出力されます。ただし、ディスクによっては、デジタル音声を出力しないことがあります。
● SACDはデジタル音声を出力しません。G アナログ音声出力端子を接続してください。
SACDのマルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには、5.1チャンネルの端子をアンプと接続してください。

各部の名称（本体）

a 電源インジケーター
電源がオンのときに点灯します。

b 電源ボタン [POWER]
電源のオン/オフを切り換えます。

c リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。
(11ページ)

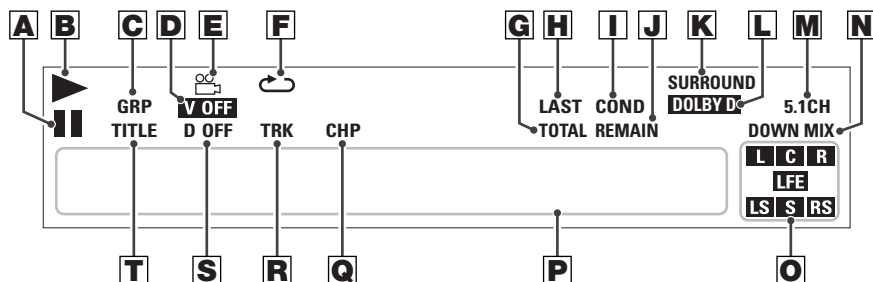
d 停止ボタン [STOP]
再生を停止します。(25ページ)

e 再生ボタン [PLAY]
ディスクを再生します。再生中は、ボタンの►が点灯します。
(24ページ)

f 一時停止ボタン [PAUSE]
再生を一時停止します。一時停止中は、ボタンの■が点灯します。(25ページ)

g 前/次ボタン(⏮ / ⏭)
前または後ろにスキップします。再生中に押したままでいると、早送り/早戻しになります。(29ページ)

h オープン/クローズボタン(⏏)
ディスクトレーを開閉します。(24ページ)

各部の名称（ディスプレー）

A 一時停止インジケーター
一時停止中に点灯します。(25ページ)

B 再生インジケーター
再生中に点灯します。

C グループインジケーター
DVDオーディオのグループ番号を表示しているときに点灯します。(10ページ)

D ビデオオフインジケーター
ビデオオフ機能がオンのときに点灯します。

E アングルインジケーター
マルチアングルの場面の再生中に点灯します。(32ページ)

F リピートインジケーター
リピート再生中に点灯します。(34ページ)

G トータルインジケーター
総再生時間の表示中に点灯します。(42ページ)

H ラストメモリーインジケーター
ラストメモリー機能が働いているときに点灯します。(40ページ)

I コンディションインジケーター
コンディションメモリー機能が働いているときに点灯します。(41ページ)

J リメインインジケーター
残り再生時間の表示中に点灯します。(42ページ)

K バーチャルサラウンドインジケーター
バーチャルサラウンド機能(TruSurround)がオンのときに点灯します。(51ページ)

L ドルビーデジタルインジケーター
ドルビーデジタル音声の再生中に点灯します。

M 5.1チャンネルインジケーター
音声出力の設定が"5.1チャンネル"のときに点灯します。(52ページ)

N ダウンミックスインジケーター
マルチチャンネルの音声を2チャンネルにダウンミックスしているときに点灯します。

O チャンネルインジケーター
再生中の音声チャンネルが点灯します。

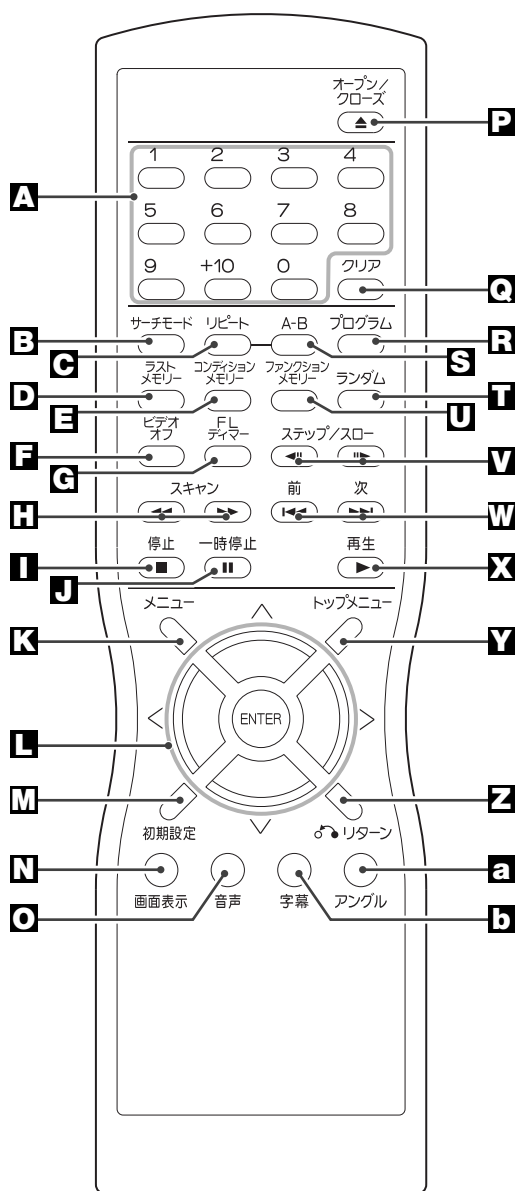
P メッセージ表示部
再生時間など各種メッセージが表示されます。

Q チャプターインジケーター
DVDのチャプター番号を表示しているときに点灯します。(10ページ)

R トラックインジケーター
CD/SACD/ビデオCDのトラック番号を表示しているときに点灯します。(10ページ)

S デジタルオフインジケーター
デジタル出力がオフに設定されているときに点灯します。

T タイトルインジケーター
DVDのタイトル番号を表示しているときに点灯します。(10ページ)

各部の名称（リモコン）

A **数字キー**
選曲や暗証番号の入力などに使います。

B **サーチモードボタン**
ディスクの再生時間またはチャプターを指定して再生します。(30ページ)

C **リピートボタン**
ディスクのリピート再生に使用します。(34ページ)

D **ラストメモリーボタン**
DVDの再生を停止した場所を記憶することができます。(40ページ)

E **コンディションメモリーボタン**
よく見るDVDビデオの設定内容を記憶させることができます。(41ページ)

F **ビデオオフボタン**
映像出力のオン/オフを切り換えます。(27ページ)

G **FLディマーボタン**
本体のディスプレーの明るさを3段階で調節できます。(27ページ)

H **スキャンボタン(◀◀ / ▶▶)**
早送り/早戻しに使用します。(29ページ)

I **停止ボタン(■)**
再生を停止します。(25ページ)

J **一時停止ボタン(❚❚)**
再生を一時停止します。(25ページ)

K **メニューボタン**
メニュー画面付のDVDがセットされているときにこのボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。(26ページ)

L **方向ボタン(上下左右)とENTERボタン**
メニュー画面や初期設定画面で使います。方向ボタンで項目を選択して、ENTERボタンで確定します。(26、46ページ)

M **初期設定ボタン**
初期設定画面を表示します。(46ページ)

N **画面表示ボタン**
再生中または停止中にこのボタンを押すと、画面表示が切り換わります。(42ページ)

O **音声ボタン**
再生中にこのボタンを押すと、音声が切り換わります。(28ページ)

P **オープン/クローズボタン(⏏)**
ディスクトレーを開閉します。(24ページ)

Q **クリアボタン**
数字キーを押し間違えたときなどに使います。

R **プログラムボタン**
プログラム再生に使用します。(36ページ)

S **A-Bリピートボタン**
ディスクのA-Bリピート再生に使用します。(35ページ)

T **ランダムボタン**
ランダム再生に使用します。(33ページ)

U **ファンクションメモリーボタン**
よく変更する初期設定の項目を登録しておくことができます。(71ページ)

V **ステップ／スローボタン**
コマ送りとスロー再生に使用します。(32ページ)

W **前/次ボタン(⏮ / ⏭)**
再生中に押すと、前または後ろにスキップします。(29ページ)

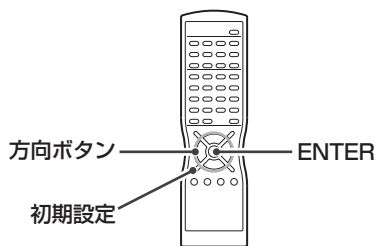
X **再生ボタン(▶)**
ディスクを再生します。(24ページ)

Y **トップメニューボタン**
メニュー画面付のDVDがセットされているときにこのボタンを押すと、最上層のメニュー画面が表示されます。(26ページ)

Z **リターンボタン**
初期設定画面やメニュー画面が表示されているときにこのボタンを押すと、一つ前の項目に戻ります。

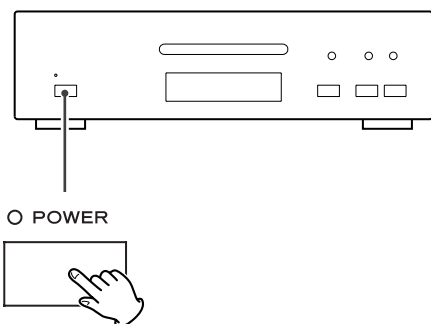
a **アングルボタン**
マルチアングルのDVDビデオの再生中に、アングルを切り換えます。(32ページ)

b **字幕ボタン**
DVDビデオの再生中にこのボタンを押すと、字幕が切り換わります。(28ページ)

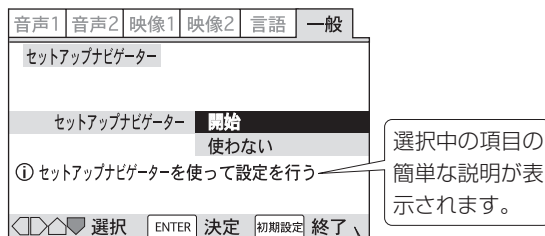
初めてお使いになるときは（セットアップナビゲーター）

初めてお使いになるときは、まずセットアップナビゲーターを起動して簡単な設定を行ってください。

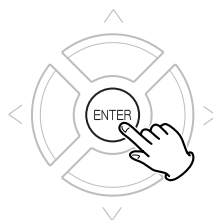
さらに詳しい設定については、46ページをお読みください。

1 本機とテレビの電源を入れる。

本体の電源ボタンを押して電源をオンにしてください。

- テレビの電源をオンにして、入力を本機に合わせて切り換えてください。
- ディスクがセットされている場合は、オープン/クローズボタン(⏏)を押してディスクを取り出してください。

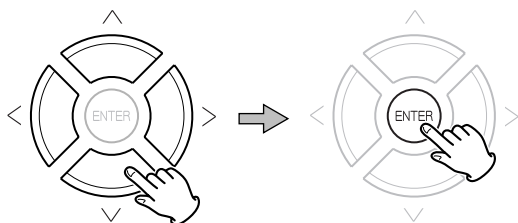
2 初期設定ボタンを押す。

セットアップナビゲーターが表示されます。

- セットアップナビゲーターによる設定が既に終わっている場合や、セットアップナビゲーターを使わずに設定する場合は、方向ボタンで「使わない」を選んでENTERボタンを押してください。

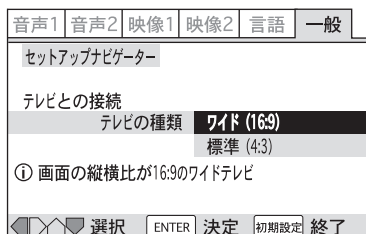
3 ENTERボタンを押す。

セットアップナビゲーターを開始します。

- 設定の途中で前の設定画面に戻りたいときは、方向ボタン(左)を押してください。

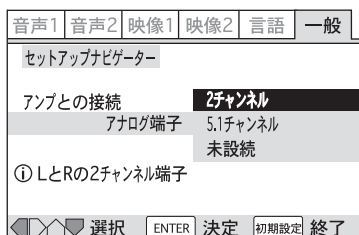
4 画面に表示する言語を選ぶ。

日本語または英語を選ぶことができます。方向ボタンで選択して、ENTERボタンを押してください。

● 字幕言語と音声言語も、ここで選択した言語に設定されます。個別に設定する場合は、セットアップナビゲーターを終えてから63ページをお読みください。

5 接続したテレビの種類を選ぶ。

方向ボタンで選択して、ENTERボタンを押してください。

● 通常のテレビは横4:縦3、ワイドテレビやハイビジョンテレビは横16:縦9の比率になっています。16:9のワイドテレビを接続した場合はワイド(16:9)を、4:3のテレビを接続した場合は標準(4:3)を選んでください。

6 アナログ端子の設定をする。

方向ボタンで選択して、ENTERボタンを押してください。

2チャンネル
本機の2チャンネルのアナログ音声出力端子とアンプを接続した場合。

5.1チャンネル
本機の5.1チャンネルのアナログ音声出力端子とアンプを接続した場合。

未接続
アナログの音声出力端子を使わない場合。

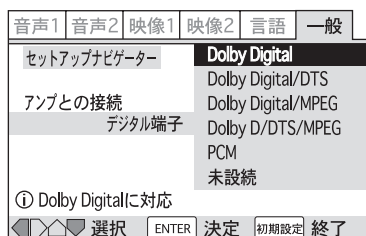
7 スピーカーの設定をする。

6で5.1チャンネルを選択した場合は、アンプに接続されている各スピーカーの有無を設定してください。

準備

8 デジタル端子の設定をする。

本機のデジタル出力端子に接続した機器に合わせて設定します。

方向ボタンで選択して、ENTERボタンを押してください。

Dolby Digital
　ドルビーデジタル対応の機器と接続した場合。

Dolby Digital/DTS
　ドルビーデジタルおよびDTS対応の機器と接続した場合。

Dolby Digital/MPEG
　ドルビーデジタルおよびMPEG対応の機器と接続した場合。

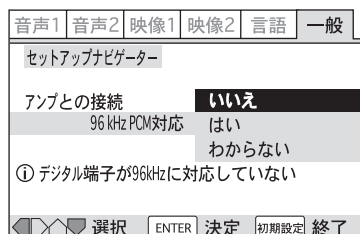
Dolby D/DTS/MPEG
　ドルビーデジタル、DTS、およびMPEG対応の機器と接続した場合。

PCM
　デジタル録音機器(CDレコーダー、MDデッキなど)や、ステレオアンプ、ドルビープロロジック対応アンプと接続した場合。

未接続
　デジタル出力端子に何も接続しない場合、または接続した機器がどのデジタル信号に対応しているかわからない場合。
　「未設続」を選択した場合は、次の「96kHz PCM対応」の設定は必要ないため、自動的に**10**に進みます。

● DTSに対応していない機器と接続したときは、"Dolby Digital/DTS"または"Dolby D/DTS/MPEG"を選ばないでください。ノイズが発生する恐れがあります。

9 96kHz音声の設定をする。

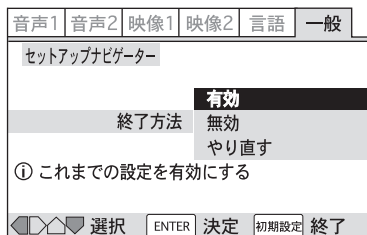
デジタル出力端子に接続した機器に合わせて設定します。
方向ボタンで選択して、ENTERボタンを押してください。

いいえ
　接続した機器がリニアPCMの96kHzに対応していない場合。

はい
　接続した機器がリニアPCMの96kHzに対応している場合。

わからない
　接続した機器がリニアPCMの96kHzに対応しているかどうかわからない場合。

● 「いいえ」「わからない」を選択すると、リニアPCMの96kHzは48kHzに変換して出力します。

10 セットアップナビゲーターを終了する。

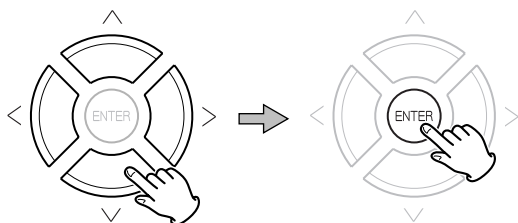
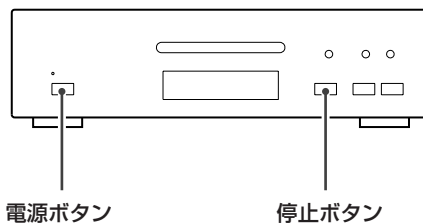
方向ボタンで選択して、ENTERボタンを押してください。

有効

ここまでの設定内容を有効にして終了します。

無効

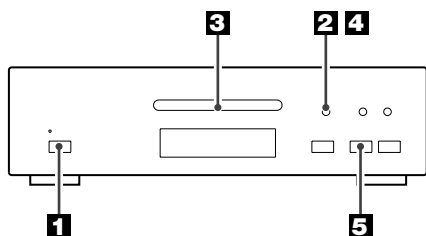
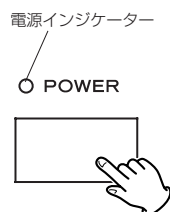
ここまでの設定内容を無効にして終了します。

やり直す

4の「画面表示言語」に戻って設定をやり直します。

工場出荷時の設定に戻すには

セットアップナビゲーターや初期設定画面(46ページ)で設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

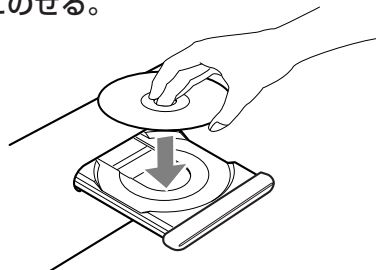
電源がオフの状態で、本体の停止ボタンを押しながら電源ボタンを押して電源を入れると、初期設定を工場出荷時の状態に戻し、コンディションメモリー、ビデオメモリーなど、すべてのメモリーを消去します。

準備

再　生

1 本体の電源ボタンを押す。

電源インジケーターとディスプレーが点灯します。

2 オープン/クローズボタン(▲)を押す。

ディスクトレーが手前に出ます。

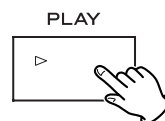
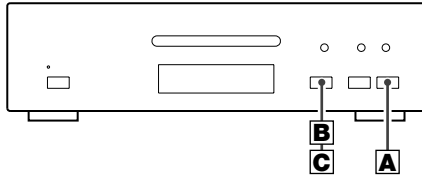
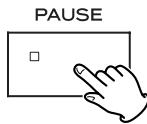
3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーの中央にのせる。

- 両面に記録されたディスクのときは、見たい面を下にしてください。
- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

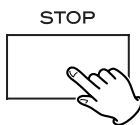
4 オープン/クローズボタン(▲)を押す。

ディスクトレーが閉まります。
ディスクによっては、自動的に再生が始まります。

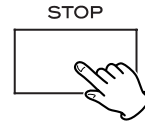
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。DVD-RWまたはMP3の読み込み中は、画面に「しばらくお待ちください」と表示されます。
- SACDの読み込み中は一時的に「読込中　DVD」と表示されますが、読み込みが終わると、SACDとして認識します。

5 再生ボタン(►)を押す。

再生が始まります。

ディスクによっては、メニュー(選択画面)が表示されます。メニューが表示された場合は E に従って操作してください。

A 一時停止するには

再生中に一時停止ボタン(❚❚)を押すと再生が一時停止します。再生ボタン(►)または一時停止ボタン(❚❚)を押すと、再び再生が始まります。

B 再生をやめるには

停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

- DVDビデオ、DVD-RW、またはビデオCDの再生中に停止ボタン(■)を押すと、リジューム状態になります。もう一度停止ボタン(■)を押すと完全に停止します。

C リジューム機能

DVDビデオ、DVD-RW、またはビデオCDの再生中に停止ボタン(■)を押すと、再生が停止してディスプレーに"RESUME"が表示されます。

再生ボタン(►)を押すと、続きから再生します。

- 以下の操作をするとリジューム機能は解除されます。

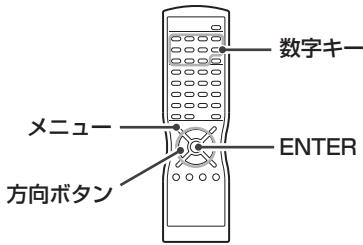
  停止中に停止ボタン(■)を押す。
  オープン/クローズボタン(⏏)を押してディスクトレーを開閉する。

- リジューム機能はディスクを交換すると解除されます。ラストメモリー機能なら、停止した位置や再生中の設定を、ディスクを入れ換えても記憶しておくことができます。(40ページ)

D スクリーンセーバー

再生を停止または一時停止した状態で5分経つと、画面を保護するためにスクリーンセーバーが起動します。何かボタンを押すと元の画面に戻ります。

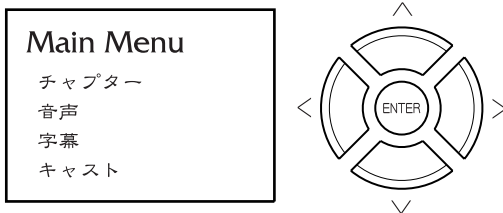
- 長時間使わないときは電源ボタンを押して電源をオフにしてください。ディスプレーと電源インジケーターが消灯します。

再生（メニュー画面が表示されたときは）

E メニュー画面が表示されたとき

メニュー画面付きDVDやプレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDでは、メニュー画面が表示されます。

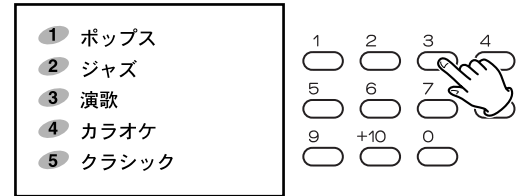
● メニュー画面の形式・操作方法はディスクによって異なります。

例：メニュー画面付きDVD

リモコンの方向ボタンで見たい項目を選んでENTERボタンを押してください。ディスクによっては、数字キーで選択できることもあります。

再生中にメニュー画面を表示したいときは、メニューボタンまたはトップメニューボタンを押してください。(ディスクによって異なります)

● ディスクによっては、再生中にメニューボタンまたはトップメニューボタンを押すと最初のチャプターに戻って再生を始めることがあります。

例：プレイバックコントロール(PBC)付きビデオCD

見たい項目の数字キーを押してください。

● ビデオCDでメニューが複数のページにまたがっているときは、前/次ボタン(⏮ / ⏭)で改ページできます。

● ビデオCDのPBC再生中にメニュー画面を表示したいときは、リターンボタンを押してください。

● PBC再生中は、以下のボタンは機能しません。
　リピート、A-B、プログラム
　ランダム、サーチモード

PBCを使わずに再生するには

停止中に、前/次ボタン(⏮ / ⏭)または数字キーを使って曲番を選んで再生すると、PBCがオフになります。

例：メニュー画面付きDVD-RW

DVD-RWにプレイリストが収録されている場合は、方向ボタン(左/右)で[オリジナル]または[プレイリスト]を選び、方向ボタン(上/下)で見たい項目を選んでENTERボタンを押してください。

● 停止中に見たい項目を選んで方向ボタン(右)を押すと、その項目の先頭の画像をプレビューできます。

● 停止中にメニューボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

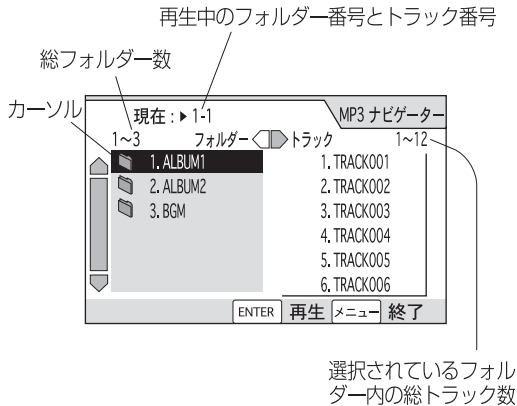
● 再生中に[オリジナル]と[プレイリスト]を切り換えることはできません。

● メニュー画面が複数のページにまたがっているときは、前/次ボタン(⏮ / ⏭)で改ページできます。

オリジナル：
DVDレコーダーで録画して作られたタイトルを[オリジナル]といいます。

プレイリスト：
オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを[プレイリスト]といいます。

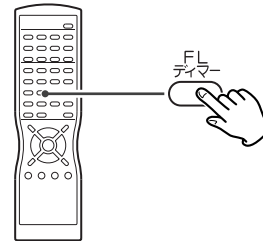
例：MP3の再生

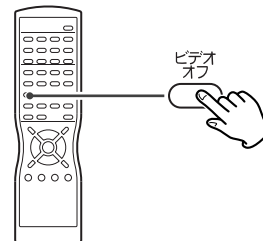
ディスクトレーにMP3のディスクをセットして、再生中または停止中にメニューボタンを押すとMP3ナビゲーターが表示されます。

方向ボタン(上下)で聴きたいフォルダーの上にカーソルを移動してENTERボタンを押すと、そのフォルダーの一曲目から再生します。

方向ボタン(上下)で聴きたいフォルダーの上にカーソルを移動してから方向ボタン(右)を押すと、カーソルがトラックの欄に移動します。方向ボタン(上下)で聴きたいトラックを選んでENTERボタンを押すと、そのトラックから再生します。

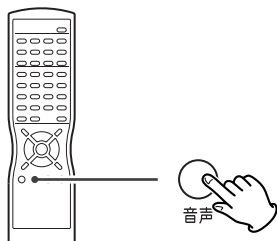
- 再生できないフォルダーまたはトラックを選ぶと、"UNPLAYABLE MP3 FORMAT"が表示され、その次の再生可能なフォルダーまたはトラックから再生を始めます。
- MP3ナビゲーターの表示中は、以下のボタンを押しても反応しません。1度メニューボタンを押してMP3ナビゲーターを消してから操作してください。
  リピート、プログラム、ランダム
  サーチモード、音声
- MP3ナビゲーターの表示/非表示にかかわらず、MP3のディスクをセットした状態で停止中に再生ボタンを押すと、通常は一つ目のフォルダーの一曲目から再生を始めます。ただし、MP3の再生を一度停止して再び再生ボタンを押した場合は、最後に再生していたフォルダーの一曲目から再生します。

F FLディマーボタン

本体のディスプレーの明るさを3段階で調節できます。

G ビデオオフボタン

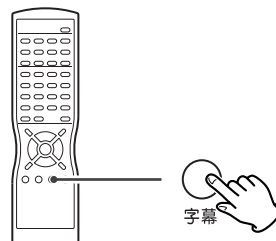
ボタンを押すたびに映像出力のオン/オフが切り換わります。SACDを聴くときなど、映像が必要ないときにオフにすると、音声出力への微小ノイズを低減することにより、よりよい音質でお楽しみいただけます。

- 電源を切るとビデオオフの設定は解除され、次に電源を入れたときは常にオンになります。

音声/字幕を切り換えるには

音声を切り換えるには

DVDには、ドルビーデジタルやPCMなどの音声がいろいろな言語で記録されています。二重音声で録画したDVD-RWの場合は、主音声、副音声、主/副音声を切り換えることができます。ビデオCD、CD、MP3の場合は、ステレオ、1/L(左)、2/R(右)を切り換えることができます。お好みの音声を選んでお楽しみください。

再生中に音声ボタンを押すたびに、音声が切り換わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使わないと音声を切り換えられないことがあります。
- 音声言語が1言語しか記録されていない場合は音声言語を切り換えることはできません。
- 音声がステレオで録画されているDVD-RWでは、主音声と副音声を切り換えることはできません。
- 音声を切り換えたときに画像が一瞬静止することがあります。
- ここで選択した音声は、リジューム機能を解除すると初期設定の設定に戻ります。
- SACDの音声を切り換えることはできません。
- ディスクによっては音声を切り換えられないものがあります。その場合は禁止マークが表示されます。

DVDの字幕言語を選ぶには

複数の字幕言語が記録されたDVDビデオでは、字幕言語を選ぶことができます。

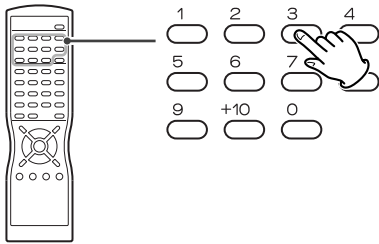
再生中に字幕ボタンを押すと、字幕言語が切り換わります。お好みの言語が表示されるまで、字幕ボタンをくり返し押してください。

字幕を消したい場合は

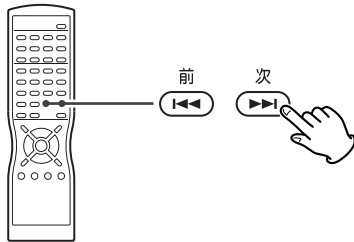
字幕ボタンをくり返し押してオフを選んでください。または、字幕ボタンを押したあとにクリアボタンを押してください。ただしディスクによっては、字幕を消せないことがあります。

- 字幕言語を切り換えた直後は字幕が表示されないことがあります。数秒間お待ちください。
- 字幕言語が記録されていない、または1つしか記録されていないときは字幕言語が切り替わりません。
- ここで選択した字幕は、リジューム機能を解除すると初期設定画面で設定された字幕に戻ります。
- 初期設定画面の字幕表示の設定を"オフ"にしておくと、字幕を消すことができます。(65ページ)
- ディスクによっては、メニュー画面を使わないと字幕を切り換えられないことがあります。
- ディスクによっては字幕言語が切り換えられないものがあります。その場合は禁止マークが表示されます。

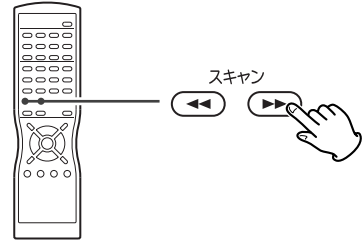
見たい場面から再生するには（数字キー/スキップ/スキャン）

数字キーで選んで再生するには

DVDの場合
停止中に数字キーを押すと、そのタイトル(またはグループ)から再生を始めます。
再生中に数字キーを押すと、そのチャプター(またはトラック)から再生を始めます。

ビデオCD/CD/MP3の場合
再生中または停止中に数字キーを押すと、そのトラックから再生を始めます。

スキップするには

再生中に本体またはリモコンの前/次ボタン(⏮/⏭)を押すと、前または後ろのチャプター(トラック)にスキップして再生を始めます。

- 再生中に⏮ボタンを1回押すと、再生中のチャプターまたはトラックの頭に戻ります。それより前に戻りたいときは、⏮ボタンを続けて押してください。
- 停止中に⏭ボタンを押すと、選んだタイトルまたはトラックから再生を始めます。DVDビデオのリジューム機能が働いているときに⏭ボタンを押すと、前回再生していたタイトルの始めから再生します。

早送り/早戻しするには(スキャン)

再生中にリモコンのスキャンボタン(◀◀/▶▶)を押すと早送り/早戻しができます。見たい部分がみつかったら、再生ボタン(▶)を押してください。

スキャンボタン(◀◀/▶▶)をくり返し押すと、早送り/早戻しの速度が変わります。

DVDビデオ/DVD-RW

▶▶ : ▶▶1→▶▶2→▶▶3

◀◀ : ◀◀1→◀◀2→◀◀3

DVDオーディオ

▶▶ : ▶▶2→▶▶3

◀◀ : ◀◀2→◀◀3

CD/SACD/ビデオCD

▶▶ : ▶▶1→▶▶2

◀◀ : ◀◀1→◀◀2

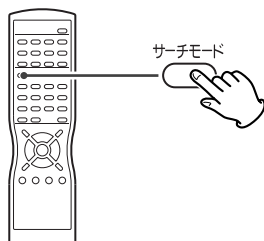
- 数字が大きいほど早くなります。
- MP3の場合は、早送り/早戻しの速度を変えることはできません。

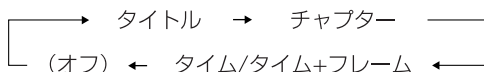
- 本体の場合は、再生中に前/次ボタン(⏮/⏭)を押したままでいると早送り/早戻しになります。見たい部分がみつかったら指を離してください。
- DVDおよびビデオCDは、早送り/早戻し中の音声は聞こえません。

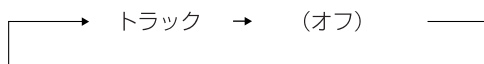
再生

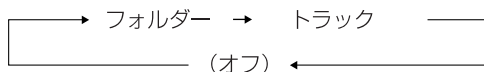
見たい場面から再生するには（タイトルサーチ）

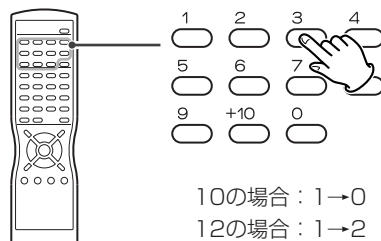
タイトル、チャプター、フォルダー、またはトラックを指定して再生することができます。DVDの再生中に、別のタイトルを指定したい場合などに便利です。

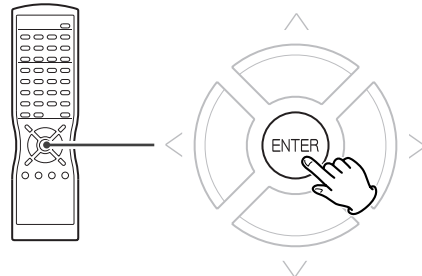
1 サーチモードボタンを押してモードを選ぶ。

ボタンを押すたびにサーチモードが切り換わります。

DVDビデオ/DVD-RW

DVDオーディオ

CD/SACD

ビデオCD

MP3

- DVDとビデオCDのタイムサーチについては、次ページをお読みください。
- 停止中でも再生中でも操作できますが、停止中はDVDのタイムサーチ/フレームサーチはできません。

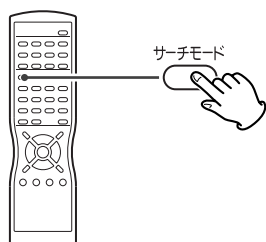
2 数字キーでチャプター番号などを指定する。

- +10キーは使えません。
- 数字キーを押し間違えたときは、クリアボタンを押してください。

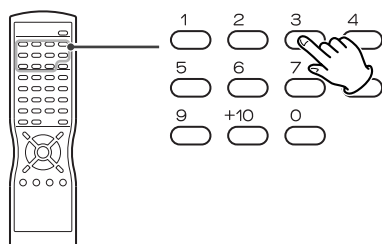
3 ENTERボタンまたは再生ボタン(►)を押す。

指定した場所から再生が始まります。

- DVDビデオのタイトル番号を指定した場合は、指定したタイトルのチャプター1から再生します。
- DVDオーディオの中には静止画が入っているものがあります。静止画の種類によっては、サーチモードで静止画の番号(ページ)を指定することができます。
- SACDによっては、ディスクの一曲目がトラック1ではないことがあります。

見たい場面から再生するには（タイムサーチ/フレームサーチ）

DVDビデオの場合

1 再生中にサーチモードボタンを3回押す。

● 停止中はタイムサーチ/フレームサーチできません。

2 数字キーを押して時間を指定する。

タイムサーチのとき

39分58秒の場合：3958

1時間50分10秒(110分10秒)の場合：11010

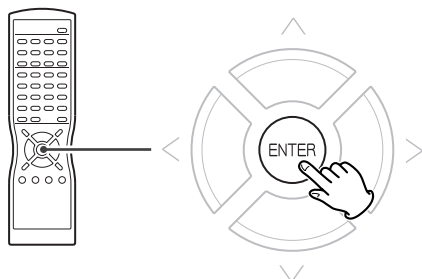
タイム+フレームサーチ(フレームサーチがオンのとき)

39分58秒の場合：395800

1時間50分10秒(110分10秒)のフレーム5の場合：1101005

● +10キーは使えません。

● 数字キーを押し間違えたときは、クリアボタンを押してください。

3 ENTERボタンまたは再生ボタン(►)を押す。

指定した場所から再生が始まります。

● DVDのフレームサーチ(58ページ)がオンのときは、指定した場所で静止画になります。

ビデオCDの場合

1 停止中または再生中にサーチモードボタンを2回押す。

● ビデオCDのPBC再生中は機能しません。

2 数字キーを押して時間を指定する。

39分58秒の場合：3958

1時間12分10秒(72分10秒)の場合：7210

● +10キーは使えません。

● 数字キーを押し間違えたときは、クリアボタンを押してください。

3 ENTERボタンまたは再生ボタン(►)を押す。

指定した位置から再生を始めます。

● DVDオーディオ、CD、SACD、MP3ではタイムサーチできません。

● ディスクによっては機能しないことがあります。

● 指定した時間とは多少ずれた位置から再生が始まる場合があります。

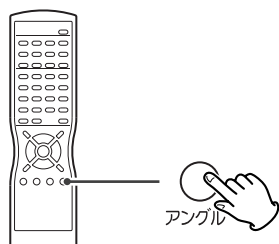
フレームについて

映像は一秒間が30フレームで構成されています。フレームは0～29の番号で表示されます。初期設定画面のフレームサーチがオンのときは、一時停止中またはコマ送り中に画面表示ボタンを押すと、フレーム番号が表示されます。

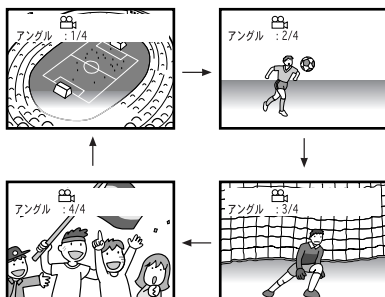
フレーム番号(00～29)

一時停止　1-4　18.17 18
タイトル　-133.55/152.12

再生

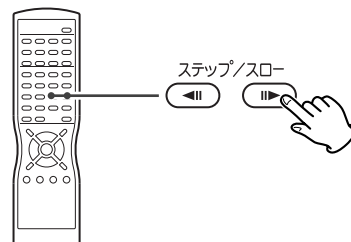
DVD

マルチアングル

見たい方向からの映像を選ぶ

複数の方向(アングル)から映された映像が記録されたDVDでは、アングルを選ぶことができます。

複数のアングルが記録されているディスクは、ディスクのジャケットに マークが付いています。本機でマルチアングルが記録されいてる箇所を再生すると、画面に (アングルインジケーター)が表示されます。アングルが記録されいてる箇所の再生中にアングルボタンを押して、アングルを切り換えてください。

● 一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。
● アングルインジケーターを消したいときは、62ページをご覧ください。
● ディスクによってはアングルを切り換えられないことがあります。その場合は禁止マークが表示されます。

DVD VCD

コマ送り/スロー再生

コマ送り

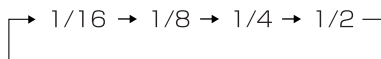
再生中または一時停止中にステップ/スローボタンを押すたびに、画像が前または逆方向にコマ送りされます。

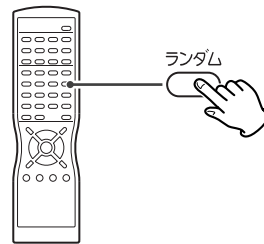
再生ボタン(►)を押すと通常の再生に戻ります。

スロー再生

再生中または一時停止中にステップ/スローボタンを押したままでいると、前または逆方向にスロー再生します。画面に"1/16"が表示されたら、指を離してください。

再生ボタン(►)を押すと通常の再生に戻ります。

● スロー再生中にステップ/スローボタンを押すたびに、スロー再生の速さが変わります。

● コマ送り/スロー再生中の音声は聞こえません。
● ビデオCDの場合は、逆方向にコマ送り/スロー再生することはできません。
● DVDオーディオの中には、静止画が入っているものがあります。静止画の種類によっては、ステップ/スローボタンで静止画を前または逆方向に送ることができます。
● 静止画がブレる場合は、初期設定の[ポーズモード]を[フィールド]にしてみてください。
● 逆方向のコマ送り中に、画像が揺れることがあります。
● ディスクによっては、コマ送り/スロー再生できないことがあります。その場合は禁止マークが表示されます。

ランダム再生

DVDのチャプターのランダム再生

DVDの再生中にランダムボタンを**1回**押してからENTERボタンを押すと、再生中のタイトルの中の全てのチャプターがランダムに再生されます。
全てのチャプターの再生が終わると停止します。

DVDのタイトルのランダム再生

DVDの再生中にランダムボタンを**2回**押してからENTERボタンを押すと、タイトルがランダムに再生されます。
全てのタイトルの再生が終わると停止します。

CD、ビデオCD、MP3のランダム再生

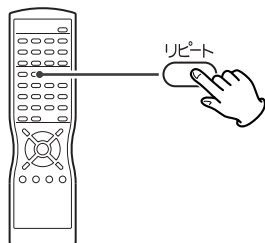
停止中または再生中にリモコンのランダムボタンを押すと、ランダム再生モードになりディスクの全トラックがランダムに再生されます。
全てのトラックの再生が終わると停止します。

ランダム再生を解除するには

クリアボタンを押すと、そこから通常の再生に戻ります。

- ランダム再生中は本体のディスプレーに"RDM"が表示されます。
- ランダム再生中に ►►I ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。I◄◄ ボタンを押すと、現在の曲の頭に戻ります。既にランダム再生が終った曲には戻れません。
- DVD-RW、SACDはランダム再生できません。
- ビデオCDのPBC再生中はランダム再生できません。
- プログラム再生中は、ランダム再生できません。
- ランダム再生をリピートすることはできません。

- 以下のボタンを押すとランダム再生は解除されます。
  - 数字キー
  - 停止ボタン
  - クリアボタン
  - リピートボタン
  - オープン/クローズボタン
  - 電源ボタン

リピート再生

再生中にリピートボタンを押すたびに、リピートモードが変わります。オフを選ぶと、通常の再生に戻ります。

DVDビデオ

→ リピートチャプター → リピートタイトル
オフ(通常の再生) ←

DVDオーディオ

→ リピートトラック → リピートグループ
オフ(通常の再生) ←

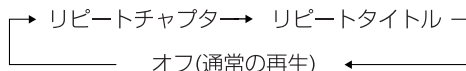
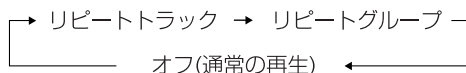
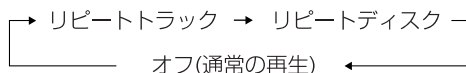
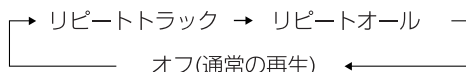
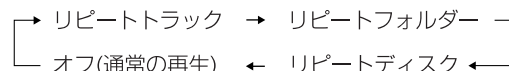
CD/ビデオCD

→ リピートトラック → リピートディスク
オフ(通常の再生) ←

SACD

→ リピートトラック → リピートオール
オフ(通常の再生) ←

MP3

→ リピートトラック → リピートフォルダー
オフ(通常の再生) ← リピートディスク ←

再生中にリピートボタンを1回押すと

再生中のチャプターまたはトラックがくり返し再生されます。リピート再生中に他のチャプターを選ぶと、そのチャプターがくり返し再生されます。

プログラム再生中にリピートボタンを1回押すと、プログラムをくり返し再生します。

再生中にリピートボタンを2回押すと

再生中のタイトル/グループ/フォルダー/ディスクがくり返し再生されます。

- DVDでは、タイトルの終わりまで再生するとタイトルの始めに戻り、くり返し再生します。
- MP3の場合は、再生中のフォルダーの中のトラックをくり返し再生します。
- ビデオCD、CD、SACDの場合は、全てのトラックをくり返し再生します。

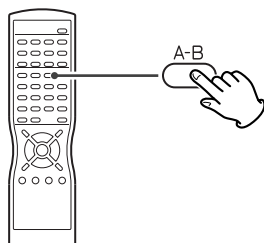
再生中にリピートボタンを3回押すと

再生中にリピートボタンを3回押すと、通常の再生に戻ります。

再生中にリピートボタンを3回押すと（MP3）

MP3の場合は、ディスクの全てのトラックをくり返し再生します。
もう一度リピートボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

- 再生を停止するとリピート再生は解除されます。
- ディスクによっては、リピート再生できないことがあります。その場合は禁止マークが表示されます。
- ビデオCDのPBC再生中はリピート再生できません。
- DVDのタイトルをまたいでリピート再生することはできません。
- DVDビデオのリピート再生中にアングルを切り換えると、リピート再生は解除されます。
- 以下のボタンを押すとリピート再生は解除されます。
  停止ボタン
  クリアボタン
  A-Bボタン
  ランダムボタン
  オープン/クローズボタン
  電源ボタン

A-Bリピート再生

指定した範囲をくり返し再生するには

あるチャプターまたはトラックの中の特定の部分をくり返し再生することができます。

再生中、くり返しを始めたい部分(A点)になったらA-Bボタンを押します。終了したい部分(B点)でもう一度A-Bボタンを押すと、指定した部分(A-B)がくり返し再生されます。

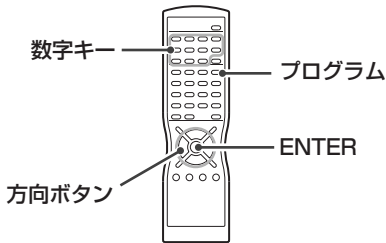
- もう一度A-Bボタンを押すと、通常の再生に戻ります。
- A点を指定したあと、B点まで早送りまたはスキップできます。

指定した場所に戻って再生するには

再生中、指定したい場所(A点)でA-Bボタンを押して、そのまま再生を続けます。A点に戻りたくなったら、再生ボタンを押してください。A点に戻って再生します。

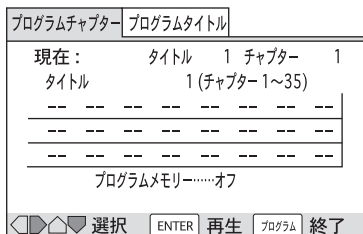
- 再生を停止するとA-Bリピート再生は解除されます。
- ディスクによってはA-Bリピート再生できないことがあります。その場合は禁止マークが画面に出ます。
- ビデオCDのPBC再生中は、A-Bリピート再生できません。
- SACDとMP3はA-Bリピート再生できません。
- ビデオCDのPBC再生中はリピート再生できません。
- DVDビデオのA-Bリピート再生中にアングルを切り換えると、A-Bリピート再生は解除されます。
- DVD-RWのタイトルをまたいでA-Bリピートすることはできません。
- 以下のボタンを押すとA-Bリピートは解除されます。

  停止ボタン
  クリアボタン
  前/次ボタン
  リピートボタン
  A-Bボタン
  ランダムボタン
  オープン/クローズボタン
  電源ボタン

プログラム再生

聴きたいチャプターやトラックを聴きたい順に、24ステップまでプログラムできます。

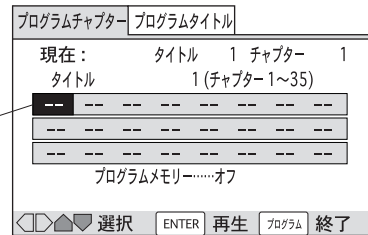
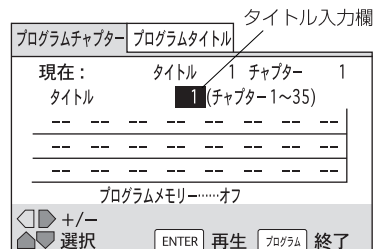
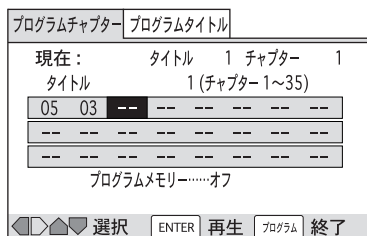
● MP3のプログラム再生については39ページをお読みください。
● ビデオCDのPBC再生中は、プログラム再生できません。
● DVD-RWはプログラム再生できません。

1 停止中または再生中にプログラムボタンを押す。

プログラム画面が表示されます。
（例：DVDビデオの場合）

CD、SACD、ビデオCDの場合は、3に進んでください。

● 約30秒放置すると、プログラムモードは解除されます。
● DVDのタイトルをプログラムする場合は、方向ボタン(右)を押して[プログラムタイトル]を選んでください。どちらか一方しかプログラムできません。

2 方向ボタン(下)を押す。

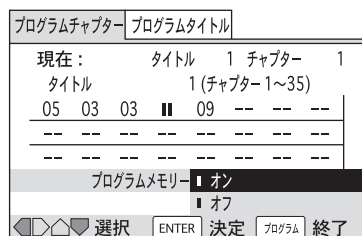
カーソルがプログラム入力欄に移動します。

● [プログラムチャプター]の画面でタイトル番号を変えたい場合は、プログラム入力欄の最上段で方向ボタン(上)を押してカーソルをタイトル入力欄に移動し、数字キーまたは方向ボタン(左右)でタイトルを指定してください。タイトルを指定すると、カーソルは自動的にプログラム入力画面の最上段に戻ります。

3 数字キーでプログラムしたいタイトル/チャプター/トラック番号を選ぶ。

3の場合　：3
12の場合　：+10→2
20の場合　：+10→+10→0

複数のタイトル/チャプター/トラックをプログラムするときは、続けて数字キーを押してください。

CD、SACD、ビデオCDの場合は、プログラムが終わったら5に進んでください。

- 一時停止ボタン(❚❚)を押すと、"❚❚(一時停止)"がプログラムされます。ただし、プログラムの最初または最後に一時停止をプログラムすることはできません。また、一時停止を続けて2回以上プログラムすることはできません。
ディスクによっては、一時停止をプログラムするとメニュー画面が表示されることがあります。その場合は、一時停止をプログラムしないでください。
- 数字キーを押し間違えたときは、クリアボタンを押すと最後にプログラムした番号だけを消去できます。
- そのディスクに存在しない番号はプログラムできません。
- タイトルをまたいでチャプターをプログラムすることはできません。
- SACDの場合、トラック番号が100以上のトラックはプログラムできません。

4 DVDビデオの場合は、プログラムメモリーのオン/オフを選ぶ。

方向ボタンでオンまたはオフの上にカーソルを移動して、ENTERボタンを押してください。

- プログラムメモリーをオンにすると、最大24枚までDVDビデオのプログラム内容を記憶しておくことができます。記憶した内容は、ディスクを取り出しても消えません。プログラムを記憶すると、次にそのディスクを再生したとき、プログラム再生を開始します。記憶したディスクが24枚を越えると、古い記憶から自動的に消去されます。

5 プログラムが終わったら、30秒以内にENTERボタンまたは再生ボタン(►)を押す。

プログラム再生が始まります。

- プログラム再生しないでプログラム画面を終了する場合は、30秒以内にプログラムボタンを押してください。プログラムした内容が保存されます。
- ボタンを押さずに約30秒放置すると、プログラム画面が消え、プログラムした内容は無効になります。
- プログラム再生中は、チャプターの変わり目でプログラムしていないチャプターの画像が表示されることがありますが、故障ではありません。

プログラム再生（つづき）

再生中のチャプターまたはトラックをプログラムするには

1 プログラムしたいチャプターまたはトラックの再生中に、プログラムボタンを1秒以上押し続ける。

画面上部に、再生中のチャプター番号とプログラムされた番号が約2秒間表示されます。

さらにプログラムする場合は、他のチャプターまたはトラックを再生してこの操作をくり返してください。

- 既にプログラムされている場合は、プログラムの一番最後に追加されます。
- 既に[プログラムタイトル]が入力されている場合は、チャプターではなくタイトルがプログラムされます。
- 既にプログラムされているタイトルと現在再生しているタイトルが異なる場合はプログラムできません。禁止マークが表示されます。
- プログラムが24ステップを越えると禁止マークが表示されます。

2 プログラムが終わったら、プログラムボタンを軽く押す。

プログラム画面が表示されます。

3 30秒以内にENTERボタンまたは再生ボタン(▶)を押す。

プログラム再生が始まります。

通常の再生に戻るには

プログラム再生中にクリアボタンを押すと、そこから通常の再生に戻ります。
プログラム再生中に停止ボタンを押して再生を停止した場合、次に再生ボタンを押したときには通常の再生になります。

- プログラムした内容は残っていますので、再びプログラム再生したい場合はプログラムボタンとENTERボタンを押してください。

プログラムの内容を確認するには

プログラムボタンを押すとプログラム画面が表示されます。

プログラムを修正するには

まず、プログラムボタンを押してプログラム画面を表示させます。

プログラムを追加するには

方向ボタンを使ってプログラムを追加したい場所に移動して、数字キーを押してください。プログラムが挿入されます。

プログラムの一部を削除するには

方向ボタンを使って削除したいプログラム番号の上に移動してクリアボタンを押してください。
そのプログラム番号が削除され、それよりあとのプログラム番号がくり上がります。

DVDのプログラムメモリーのオン/オフを切り換えるには

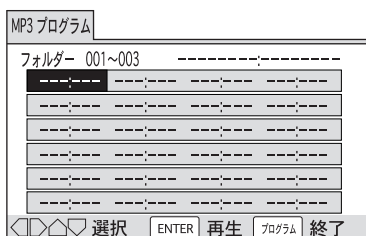
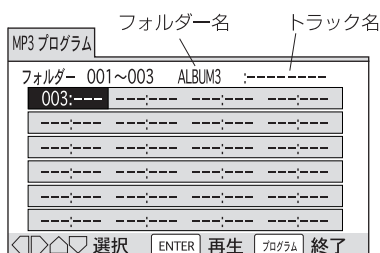
方向ボタンでプログラムメモリーのオンまたはオフの上にカーソルを移動して、ENTERボタンを押してください。

プログラム内容の消去

以下のいずれかの操作をすると、プログラム内容は全て消去されます。
ただし、プログラムメモリーがオンのときはオープン/クローズボタンを押しても消去されません。

停止中にクリアボタンを押す。
オープン/クローズボタンを押す。

MP3のプログラム再生

1 停止中または再生中にプログラムボタンを押す。

2 プログラムしたいフォルダーとトラック番号を数字キーで選ぶ。

フォルダー3のトラック9をプログラムする場合
3→9
フォルダー1のトラック25をプログラムする場合
1→+10→+10→5

複数のトラックをプログラムするときは、続けてフォルダーとトラック番号を選んでください。

3 プログラムが終わったら、30秒以内にENTERボタンまたは再生ボタン(►)を押す。

プログラム再生が始まります。

● プログラム再生しないでプログラム画面を終了する場合は、30秒以内にプログラムボタンを押してください。プログラムした内容が保存されます。

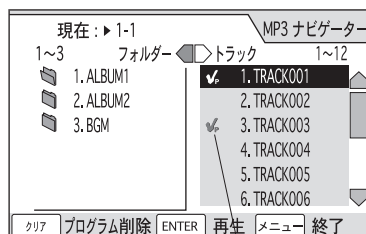
プログラムの修正、消去方法については38ページをお読みください。

MP3ナビゲーターを使ってプログラムするには

MP3ナビゲーターを使って、曲名を見ながらプログラムすることもできます。

1. メニューボタンを押してMP3ナビゲーターを表示させる。

2. 方向ボタンを使ってプログラムしたいトラックの上にカーソルを移動する。

3. プログラムボタンを押す。

プログラムマーク

プログラムマークが点灯し、そのトラックがプログラムされます。

● プログラムボタンを押した回数だけプログラムされます。

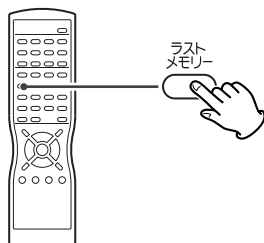
● プログラムされたトラックの上でクリアボタンを押すと、そのトラックがプログラムから削除されます。

4. プログラムが終わったら、メニューボタンを押してMP3ナビゲーターの画面を終了する。

5. プログラムボタンを押す。
プログラム画面に、プログラムしたトラックが表示されます。

6. ENTERボタンまたは再生ボタンを押す。
プログラム再生が始まります。

再生

続き再生（ラストメモリー）

ディスクを途中まで見て、あとでその続きを見たいときに便利な機能です。

続きから見る場所を記憶するには

1 再生中にラストメモリーボタンを押す。

画面に「ラストメモリー」と表示され、その場所とそのときの設定内容が記憶されます。

- 記憶した場所を変更したい場合は、またラストメモリーボタンを押してください。最後にラストメモリーボタンを押した場所が記憶されます。

2 電源ボタンまたは停止ボタンを押して再生を中断する。

- リジューム機能はディスクを取り出すと解除されますが、DVDのラストメモリー機能ならディスクを取り出しても記憶は消えません。
- DVDビデオは5枚まで記憶しておくことができます。
- ビデオCDは1枚だけ記憶できます。ディスクを取り出すと記憶した内容が消えてしまいますので、取り出さないでください。

続きから見るには

1 ラストメモリーしたディスクをセットする。

自動的に再生が始まった場合は、停止ボタンを押してください。

2 ラストメモリーボタンを押す。

記憶した場所から再生を始めます。

ラストメモリーを消去するには

1 ラストメモリーしたディスクをセットする。

自動的に再生が始まった場合は、停止ボタンを押してください。

2 ラストメモリーボタンを押す。

記憶した場所から再生を始めます。

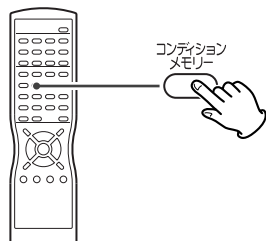
3 ラストメモリーボタンを押す。

画面に「ラストメモリー」と表示されます。

4 5秒以内にクリアボタンを押す。

画面に「ラストメモリー」と表示されている間にクリアボタンを押せば、そのディスクのラストメモリーは消去されます。

- 記憶したディスクの枚数が5枚を超えたときは、古い記憶(一番最初にメモリーしたもの)から消去されます。
- 記憶したディスクでも、PLAYボタン(►)で再生すると、ディスクの始めから再生します。
- ビデオCDをPBC再生をしたときは、続き再生ができないことがあります。
- DVD-RW、DVDオーディオは続き再生できません。DVDビデオもディスクによっては機能しないことがあります。

コンディションメモリー

よく見るDVDビデオの設定内容を最大15枚まで記憶させることができます。ディスクを取り出したり電源を切っても、記憶は消去されません。

記憶できる設定内容は下記の6つです。これらの設定をした後にコンディションメモリーボタンを押すと、これらの設定内容を記憶しておけます。

音声言語
字幕言語
アングル
画質調整
画面表示
視聴制限

記憶してあるディスクを入れると、画面に「コンディションメモリー」と表示され、本体ディスプレーの"CONDITION"が点灯します。

記憶してある内容を消去するには

1 コンディションメモリーボタンを押す。

画面に「コンディションメモリー」と表示されます。

2 5秒以内にクリアボタンを押す。

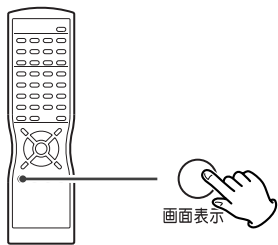
画面に「コンディションメモリー」と表示されている間にクリアボタンを押せば、そのディスクのコンディションメモリーは消去されます。

● 一度設定した内容は、何度再生しても保持されます。

● 記録できる枚数は最大で15枚分です。それを超えると、古い記録から消されて、新しく記録した内容になります。古い記録でも、呼び出されると最新の記録となります。

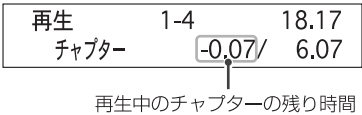
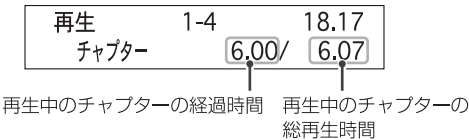
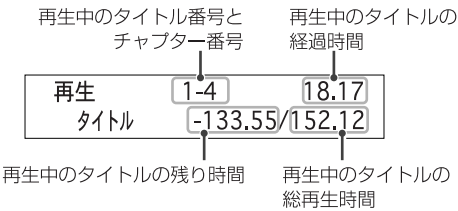
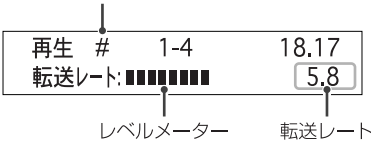
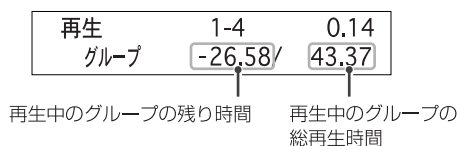
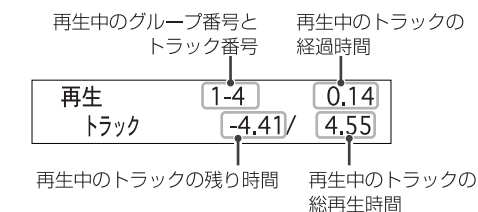
● ディスクによっては、機能しないことがあります。

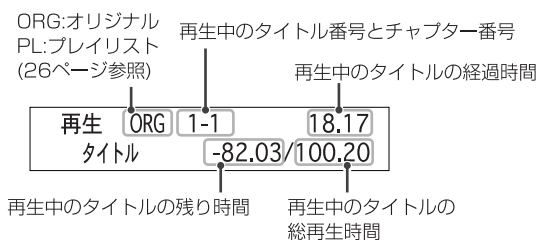
● DVD-RW、DVDオーディオでは機能しません。

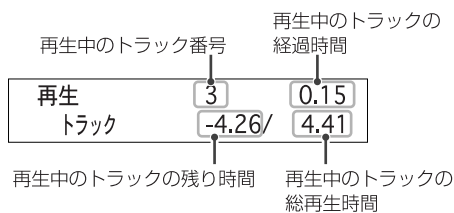
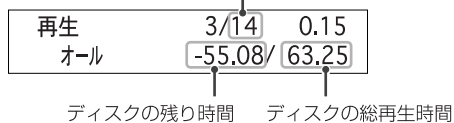
ディスクの情報を見る（再生中）

再生中に画面表示ボタンを押すと、画面の表示が次のように切り換わります。

● 本体のディスプレーの表示も切り換わります。

● 何もボタンを押さない状態が約150分続くと、画面の表示は消えます。

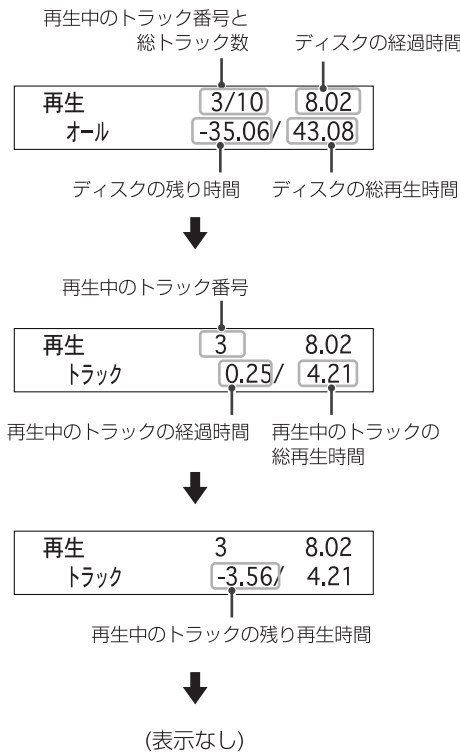
DVDビデオ（再生中）

DVDオーディオ（再生中）

(表示なし)

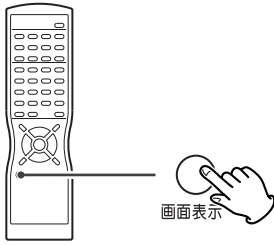
DVD-RW（再生中）

(表示なし)

CD/SACD（再生中）

(表示なし)

ディスクの情報を見る（再生中）

ビデオCD（再生中）

PBC再生中は表示できません。

MP3（再生中）

ディスクの情報を見る（停止中）

停止中に画面表示ボタンを押すと、ディスク情報の画面が表示されます。もう一度押すと画面が消えます。

- ディスク情報が2ページ以上ある場合は、方向ボタン(左右)でページを切り換えてください。
- 何もボタンを押さない状態が約150分続くと、表示は消えます。

DVDビデオ

タイトル番号と、各タイトルのチャプター数を表示します。

DVDオーディオ

グループ番号と、各グループのトラック数を表示します。ボーナスグループがある場合、キーナンバーの入力前は灰色で表示されます。

DVD-RW

ディスク名とオリジナル/プレイリストのタイトル数を表示します。ディスク名に表示できない文字(半角英数字または半角カタカナ以外)が使われている場合は、"・"になります。

CD/ビデオCD

ディスクの総再生時間、トラック番号、各トラックの再生時間を表示します。

インフォメーション：コンパクトディスク

トータルタイム 63.25

トラック	タイム	トラック	タイム
01	4.35	06	3.59
02	3.53	07	3.30
03	3.59	08	3.39
04	3.30	09	4.50
05	5.35	10	3.15

1/2 画面表示 終了

SACD

ディスクの総再生時間、トラック番号、各トラックの再生時間を表示します。

インフォメーション：SACD 2ch エリア

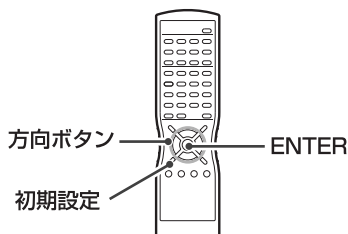
トータルタイム 63.25

トラック	タイム	トラック	タイム
001	4.35	006	3.59
002	3.53	007	3.30
003	3.59	008	3.39
004	3.30	009	4.50
005	5.35	010	3.15

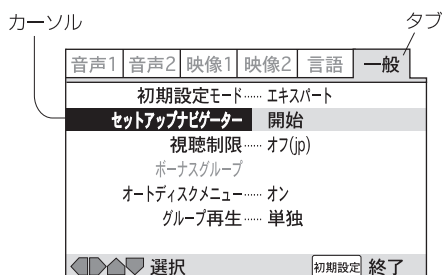
1/2 画面表示 終了

MP3

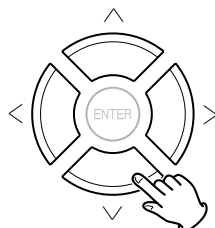
フォルダー番号と、各フォルダーのトラック数を表示します。

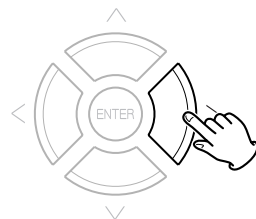
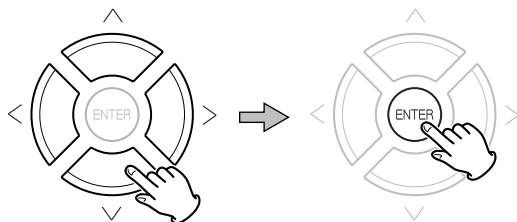
設定画面について

1 本機とテレビの電源を入れる。

2 初期設定ボタンを押す。

初期設定画面が表示されます。

セットアップナビゲーターの画面が表示されたときは：
セットアップナビゲーターによる設定が既に終わっている場合や、セットアップナビゲーターを使わずに設定する場合は、「使わない」を選んでENTERボタンを押してください。

- 既に初期設定画面を表示したことがある場合は、前回表示していた画面が表示されます。
- 従来の4:3のテレビでDVDを再生しているときに初期設定画面を表示させると、画面が一時的に乱れることがありますが、故障ではありません。
- ディスクの再生中でも初期設定画面は表示できますが、変更できない項目があります。再生を停止してから初期設定ボタンを押してください。
- 初期設定を中断する場合は、もう一度初期設定ボタンを押してください。
- 約30秒放置すると初期設定モードは解除されます。
- 初期設定ボタンを押すと、リジューム機能が解除されることがあります。

3 方向ボタンで設定する項目を選ぶ。

- 画面を切り換えるときは、カーソルを一番上のタブに移動してから方向ボタン(左右)を押してください。

4 方向ボタン(右)を押して選択肢の欄にカーソルを移動する。

5 方向ボタン(上下)で設定したい選択肢にカーソルを合わせてENTERボタンを押す。

各設定内容については、48～68ページをお読みください。

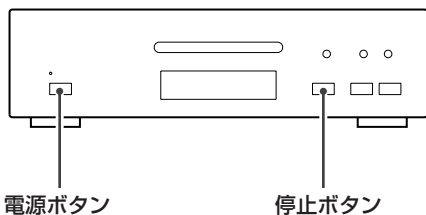
複数の項目を設定する場合は、**3**～**5**の操作をくり返してください。

選択肢の左のインジケーターの色について

青色：DVDのための設定
橙色：SACD/CD/DVDオーディオのための設定
黄色：DVD/ビデオCDのための設定
緑色：全般
灰色：選択されていない選択肢

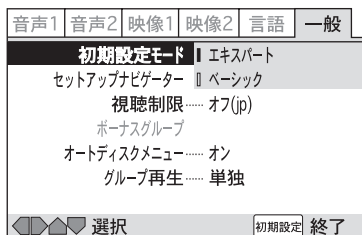
- 再生中に設定を変更できない項目の選択肢は、灰色で表示されます。
- DVD以外のディスクがセットされているときに、青いインジケーターの選択肢(DVDのための設定)を選ぶと、画面の右上に一瞬"DVD"マークが表示されます。

6 設定が終わったら、初期設定ボタンを押して設定を終了する。

工場出荷時の状態に戻すには

セットアップナビゲーターや初期設定画面(46ページ)で設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

電源がオフの状態で、本体の停止ボタンを押しながら電源ボタンを押して電源を入れると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、コンディションメモリー、ビデオメモリーなど、すべてのメモリーを消去します。

初期設定の種類を選ぶ。

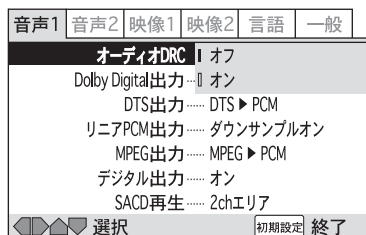
[初期設定→一般→初期設定モード]

エキスパート (出荷時の設定)：
全ての設定項目を表示します。

ベーシック：
基本的な設定項目だけを表示します。選択中の項目の簡単な説明が黄色い文字で画面に表示されます。

- この取扱説明書では、"エキスパート"のときしか表示されない設定項目のタイトルには エキスパート がついています。

各種設定

オーディオDRC

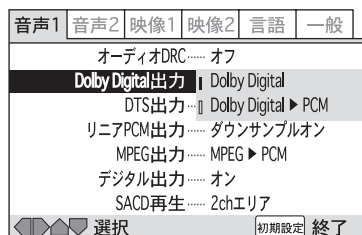
[初期設定→音声1→オーディオDRC]

オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)のオンとオフを切り換えます。方向ボタンで"オン"または"オフ"を選んでENTERボタンを押してください。

オフ (出荷時の設定)：
オーディオDRCを使わずにそのままの音で再生します。

オン：
オンにすると、ドルビーデジタル対応のディスクを再生するときに、ダイナミックレンジ(大小の音量差)を小さくして音を抑えることができます。会話などの音声が聞きづらい場合や、夜間など音を控えめにしたいときに便利です。

● オーディオDRCの効果は、再生するディスク、お使いのスピーカーやアンプによって異なります。
● デジタル出力端子から出力される音声にも効果があります。ただし、"Dolby Digital 出力"を"Dolby Digital ▶ PCM"に設定し、"デジタル出力"を"オン"に設定してください。

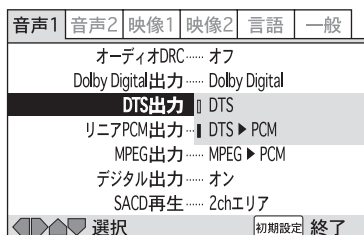
ドルビーデジタル出力

[初期設定→音声1→Dolby Digital出力]

ドルビーデジタル信号の出力方法を選びます。
方向ボタンで項目を選んでENTERボタンを押してください。

Dolby Digital (出荷時の設定)：
ドルビーデジタル信号をデジタル出力端子からそのまま出力します。
ドルビーデジタル対応のアンプと接続したときに選んでください。

Dolby Digital ▶ PCM：
ドルビーデジタル信号をPCMに変換して、デジタル出力端子から出力します。
本機と接続したCDレコーダーやMDデッキでデジタル録音するときに選んでください。
(PCM：CDなどで使用される一般的なデジタル音声)

DTS出力

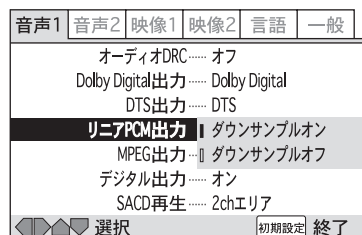
[初期設定→音声1→DTS出力]

DTS信号の出力方法を選びます。
方向ボタンで項目を選んでENTERボタンを押してください。

DTS：
DTS信号をデジタル出力端子からそのまま出力します。DTS対応のアンプと接続したときに選んでください。

DTS ▶ PCM (出荷時の設定)：
DTS信号をPCMに変換して、デジタル出力端子から出力します。
本機と接続したCDレコーダーやMDデッキでデジタル録音するときに選んでください。

● DTSに対応していない機器と接続しているときは"DTS"に設定しないでください。ノイズが発生することがあります。

リニアPCM出力

[初期設定→音声1→リニアPCM出力]

方向ボタンで項目を選んでENTERボタンを押してください。

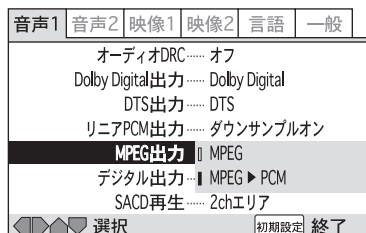
ダウンサンプルオン (出荷時の設定)：
各系統の音声周波数を48kHz/44.1kHzにダウンサンプルして出力します。96kHz/88.2kHzに対応していないアンプと接続したときに選んでください。

ダウンサンプルオフ：
96kHz/88.2kHz対応のアンプまたはDACと接続したときに選んでください。

● "ダウンサンプルオフ"に設定しても、ディスクによっては強制的に48kHz/44.1kHzに変換されたり、デジタル出力されないことがあります。

● DVDオーディオの192/176.4kHzの信号は、"ダウンサンプルオフ"に設定しても強制的に96/88.2kHzにダウンサンプルされます。

MPEG出力

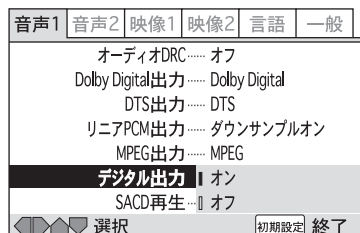
[初期設定→音声1→MPEG出力]

MPEG信号の出力方法を選びます。
方向ボタンで項目を選んでENTERボタンを押してください。

MPEG：
MPEG信号をデジタル出力端子からそのまま出力します。MPEG対応のアンプと接続したときに選んでください。

MPEG ▶ PCM（出荷時の設定）：
MPEG信号をPCMに変換して、デジタル出力端子から出力します。5.1チャンネルの信号は自動的にダウンミックスされます。
本機と接続したCDレコーダーやMDデッキでデジタル録音するときに選んでください。

● DVDオーディオによっては、ダウンミックスが禁止されていることがあります。その場合、5.1チャンネルのMPEG信号をPCMに変換しようとしても、デジタル音声は出力されません。

デジタル出力 エキスパート

[初期設定→音声1→デジタル出力]

方向ボタンで項目を選んでENTERボタンを押してください。

オン（出荷時の設定）：
デジタル出力端子から音声を出力します。デジタル出力端子に機器が接続されているときは、"オン"にしてください。

オフ：
デジタル出力端子から音声を出力しません。より良い音質のために、デジタル出力端子を使わないときは"オフ"にしてください。

● SACDはデジタル音声を出力することができません。

SACD再生 エキスパート

[初期設定→音声1→SACD再生]

SACDの再生層を切り換えます。
SACDは、2チャンネルとマルチチャンネルのエリアが別々になっています。ハイブリッドSACDはSACD層とCD層の2層構造になっています。

方向ボタンで項目を選んでENTERボタンを押してください。

2chエリア (出荷時の設定)：
2チャンネルエリアを再生します。

マルチchエリア：
マルチチャンネルエリアを再生します。

CDエリア：
CD層を再生します。

● SACDにここで選択したエリアが収録されていない場合は、他のエリアを再生します。たとえば"CDエリア"を選択した状態でCD層がないSACDを再生すると、2チャンネルエリアを再生します。

Virtual Surround

[初期設定→音声2→Virtual Surround]

バーチャルサラウンド(仮想立体音場)のオン/オフを設定します。
方向ボタンで項目を選んでENTERボタンを押してください。

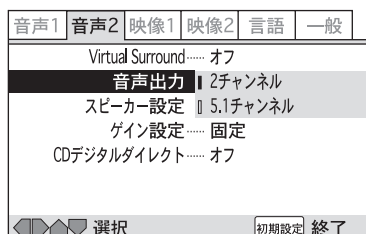
オフ (出荷時の設定)：
機能しません。

TruSurround (オン)：
SRS社のTruSurround技術により、サラウンドエンコードされたステレオ音声やマルチチャンネル音声を処理して、2つのフロントスピーカーのみでも臨場感のある立体音場を再現します。

● この機能は、2chのアナログ音声出力端子にのみ効果があります。DVDオーディオ音声、DTS音声、リニアPCM96kHz音声、SACD、CD、MP3の再生時には機能しません。

● DVDのドルビーデジタル、またはビデオCDの2ch音声ディスクを再生するときに"TruSurround"を選択すると、デジタル出力端子の音声レベルが小さくなります。また、"Dolby Digital 出力"の設定が"Dolby Digital ▶ PCM"のときに"TruSurround"を選択してドルビーデジタル2ch以外のディスクを再生すると、デジタル出力端子からは音声が出力されません。

● サラウンドの効果は、再生するディスク、お使いのスピーカーやアンプによって異なります。

音声出力 [初期設定→音声2→音声出力]

方向ボタンで項目を選んでENTERボタンを押してください。

2チャンネル (出荷時の設定)：
2チャンネルのアナログ音声出力端子(FRONT 1または2)から2チャンネルの音声を出力します。マルチチャンネルの音声は、2チャンネルにダウンミックスして出力します。
5.1チャンネル用のアナログ音声出力端子を使わないときに選んでください。

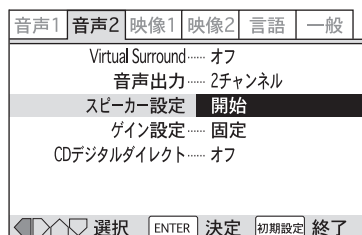
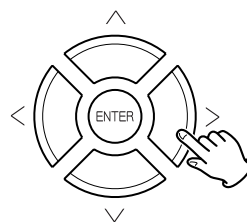
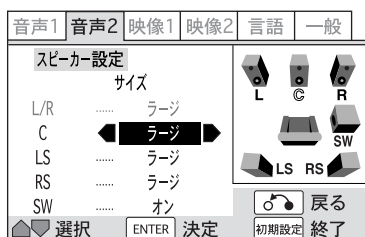
5.1チャンネル：
AVアンプを5.1チャンネルのアナログ音声出力端子に接続したときに選んでください。5.1チャンネルの独立した音声が出力されます。

- 5.1チャンネルに設定すると、2チャンネルのアナログ音声出力端子(FRONT 1および2)からはフロントL/Rの音声が出力されます。
- DVDビデオのスライドショー(74ページ)の再生中に音声出力を切り換えると、音声が最大約30秒間途切れることがあります。
- DVDオーディオによっては、ダウンミックスが禁止されていることがあります。その場合は、"2チャンネル"に設定してもダウンミックスできません。デジタル音声も出力されません。

スピーカー設定

[初期設定→音声2→スピーカー設定]

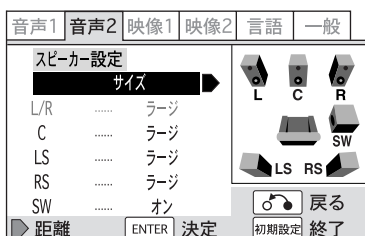
AVアンプを5.1チャンネルアナログ音声出力端子に接続している場合は、スピーカーの設定を行ってください。
5.1チャンネルアナログ音声出力端子を使わないときは、設定する必要はありません。

1 方向ボタンで"開始"を選んでENTERボタンを押す。

2 方向ボタン(上下)でスピーカーを選んで、方向ボタン(左右)で設定を選ぶ。

L/R : フロントスピーカー
C : センタースピーカー
LS : 左サラウンドスピーカー
RS : 右サラウンドスピーカー
SW : サブウーハー

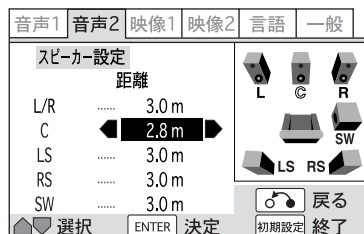
- L/R(フロントスピーカー)のサイズは"ラージ"に固定されているため変更できません。
- LSとRSは連動して切り換わります。

ラージ：
大きいスピーカー(目安としてコーンサイズ12cm以上)を使う場合。
スモール：
小さいスピーカー(目安としてコーンサイズ12cm未満)を使う場合。
オフ：
そのスピーカーを使わない場合。
オン (サブウーハーのみ)：
サブウーハーを使うときは"オン"にしてください。低音をサブウーハーから出力します。

スピーカーアイコンについて
- 選択中のスピーカーの文字は青で表示されます。
- "オフ"のスピーカーアイコンは白、"ラージ"および"スモール"は黄色で表示されます。

3 方向ボタン(上)を使って"サイズ"の上にカーソルを移動する。

4 方向ボタン(右)を押して"距離"にする。

5 方向ボタン(上下)でスピーカーを選んで、方向ボタン(左右)で数値を変更する。

視聴位置から各スピーカーまでの距離を設定します。距離を設定すると、ディレイタイム(遅延時間)が自動的に設定されます。

設定範囲(0.1m刻み)
L/R : 0.3m〜9m
C、SW : "L/Rの設定値" から±2m
LS、RS : "L/Rの設定値"から −6m〜+2m

- 同一サイズのスピーカーを視聴位置から等距離に配置するのが理想です。等距離に置けない場合、本機は自動的にディレイタイムを設定することによって理想に近付けます。

6 設定が終わったら、ENTERボタンを押して終了する。

設定が有効になり、初期設定画面に戻ります。

- SACDの再生時は、距離の設定は無視されます。
- DVDオーディオの再生時は、スピーカーの設定に関係なく、常に"ラージ"で再生されます。
- センタースピーカー(C)またはサラウンドスピーカー(LS, RS)が"オフ"の状態でDVDオーディオを再生すると、強制的に2CHにダウンミックスされます。(ダウンミックスが禁止されている場合を除く)

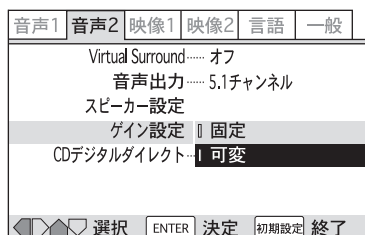
ゲイン設定(テストトーン) エキスパート

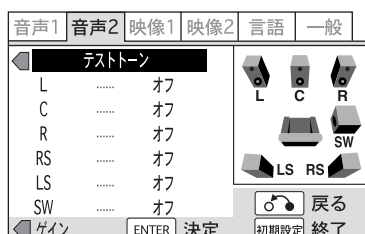
[初期設定→音声2→ゲイン設定]

AVアンプを5.1チャンネルのアナログ音声出力端子に接続している場合は、"可変"を選んで各スピーカーの出力レベルを調節することができます。
一度調節すれば、スピーカーを移動しない限り、再度調節する必要はありません。

5.1チャンネルのアナログ音声出力端子を使わないときは、設定する必要はありません。

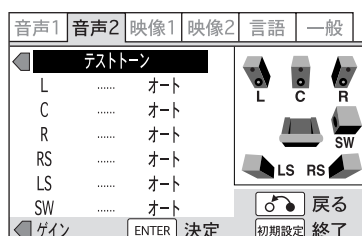
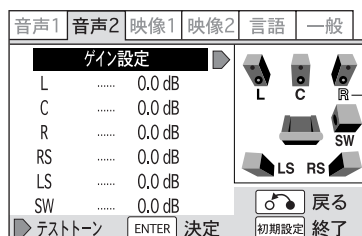
- 工場出荷時は"固定"に設定されています。
- リモコンを使って、実際の視聴位置で調節してください。
- 52ページの"音声出力"を"5.1チャンネル"に設定しておいてください。
- 52ページのスピーカー設定を済ませてから調節してください。

1 方向ボタンで"可変"を選んでENTERボタンを押す。

2 方向ボタン(右)を押して"テストトーン"にする。

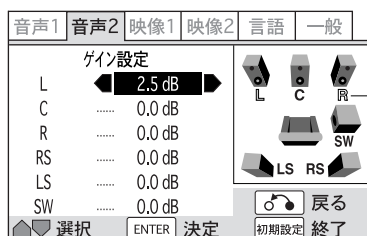
カーソルが"ゲイン設定"の上にあるときに方向ボタンを押すと、"テストトーン"に切り換わります。

3 方向ボタン(上下)でスピーカーを選んで、方向ボタン(左右)で"オン"または"オート"を選ぶ。

オフ：
テストトーンは出力されません。
オン：
テストトーンが出力されます。
オート：
テストトーンが約2秒ずつ出力されます。
(サブウーハーからは出力しません)

- どれかひとつを"オート"にすると、他のスピーカーの設定も自動的に"オート"になります。
- テストトーンは"音声出力"の設定が"5.1チャンネル"のときしか使えません。また、ディスクの再生中やディスクトレーが開いているときもテストトーンは使えません。
- テストトーンの音量が小さくて聞こえない場合、または大きすぎる場合は、アンプ側で音量を調節してください。

4 方向ボタン(上)を押して"テストトーン"の上にカーソルを移動する。

5 方向ボタン(左)を押して"ゲイン設定"にする。

テストトーンが出ているスピーカーの文字は黄色で表示されます。

6 各スピーカーからの音の大きさが同じに聴こえるように調節する。

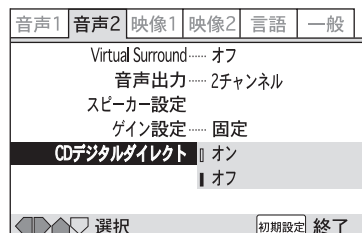
方向ボタン(上下)でスピーカーを選んで、方向ボタン(左右)で音量を調節してください。
±6dBの範囲で、0.5dB刻みに調節できます。

選択中のスピーカーの文字は水色、テストトーンが出ているスピーカーは黄色、選択中でテストトーンも出ているスピーカーは黄緑で表示されます。

7 調節が終わったら、ENTERボタンを押して終了する。

設定が有効になり、初期設定画面に戻ります。

- "ゲイン設定"で"可変"を選ぶと、全てのスピーカーの出力レベルが－6dBに設定されます。その上でセンター、サラウンド、サブウーハーの出力レベルを±6dBの範囲で調節しますので、"可変"で最大出力(6dB)にしたときの出力レベルは"固定"の出力レベルと等しくなります。よってほとんどの場合、"可変"を選んだときの出力レベルは"固定"よりも小さくなります。
- 55ページの"CDデジタルダイレクト"を"オン"にしてCDを再生しているときは、ゲイン設定は無視されます。

CDデジタルダイレクト エキスパート

[初期設定→音声2→CDデジタルダイレクト]

方向ボタンで"オン"または"オフ"を選んでENTERボタンを押してください。

オン：

DTS以外のCDを再生する時に不要な回路をバイパスします。通常はこちらを選択してください。

オフ (出荷時の設定)：

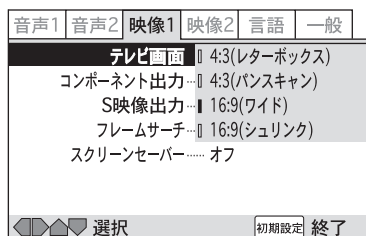
DTS-CD(DTSデジタルサラウンド方式で記録されたCD)を再生する時にはこちらを選択してください。

- "オン"に設定した状態でもDTS-CDの再生は可能ですが、まれに曲の頭が欠けたり、ノイズを発生する場合があります。そのような場合は"オフ"を選択してください。通常の再生は"オン"を推奨します。

各種設定

テレビ画面（アスペクト比）

[初期設定→映像1→テレビ画面]

接続したテレビに合わせて映像の縦横比(アスペクト比)を選んでください。

- ディスクの再生中は設定を変更できません。停止ボタンを押して再生を停止してください。
- 従来のテレビは横4:縦3、ワイドテレビやハイビジョンテレビは横16:縦9の比率になっています。この横と縦の比率をアスペクト比と呼んでいます。
- ディスク側でアスペクト切換できる場合は、テレビに合わせて切り換えてください。
- アスペクトの切換ができるかどうかはディスクによって異なります。ディスクのジャケット等で確認してください。アスペクトの切換ができないディスクの場合にはテレビ側で画面を調整してください。
- テレビ側の設定によっては映像が縦長または横長になることがあります。接続するテレビの取扱説明書もお読みください。

4:3(レターボックス)

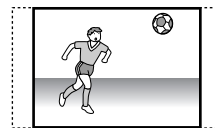
従来の4:3のテレビを接続し、16:9の映像はレターボックスで見る場合。画面の上下が黒い帯になりますが、正しく見ることができます。

4:3の映像

16:9の映像

4:3(パンスキャン)

従来の4:3のテレビを接続し、16:9の映像はパンスキャンで見る場合。画面の左右が切れます。

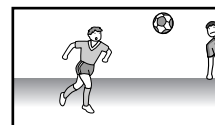
4:3の映像

16:9の映像

16:9(ワイド)（出荷時の設定)

16:9のワイドテレビを接続した場合。

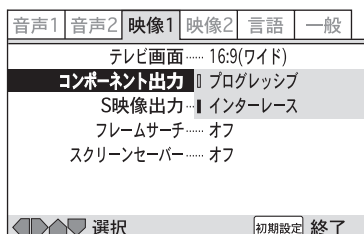
16:9(シュリンク)

プログレッシブ対応テレビで、アスペクトの切換ができない場合。4:3の映像が横長になってしまうのに、テレビ側で4:3に切り換えることができないときに選択してください。4:3の画面の左右が黒い帯になりますが、正しく見ることができます。

4:3の映像

16:9の映像

コンポーネント出力

[初期設定→映像1→コンポーネント出力]

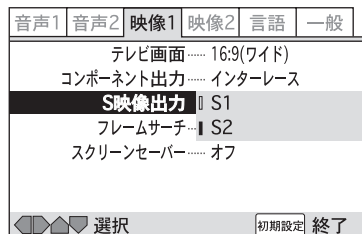
コンポーネント映像出力端子にテレビを接続している場合は、テレビに合わせて出力方法を選んでください。

プログレッシブ：
プログレッシブ入力対応のテレビまたはプロジェクターと接続した場合。きめ細かな映像が得られる高画質モードです。

インターレース（出荷時の設定）：
プログレッシブ入力に対応していないテレビまたはプロジェクターと接続した場合。

- プログレッシブ入力に対応していないテレビと接続しているときは、"プログレッシブ"を選ばないでください。設定画面を表示することができなくなります。万一、"プログレッシブ"を選択してしまったときは、映像出力端子またはS1/S2映像端子をテレビと接続して設定画面を表示し、設定を"インターレース"に戻してください。
- 一部のプログレッシブ対応テレビは、本機との互換が不完全なため、プログレッシブ再生時に画像が乱れることがあります。その場合は本機の設定を"インターレース"にしてください。

S映像出力 エキスパート

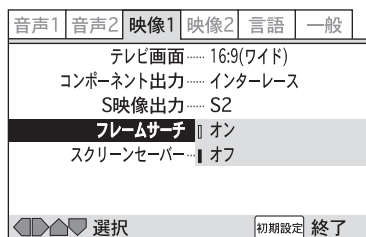
[初期設定→映像1→S映像出力]

S映像出力端子にテレビを接続している場合は、S映像出力端子から出力する映像信号を切り換えることができます。

S1：
映像のアスペクト比(4:3、16:9)の識別信号の入ったS1映像信号を出力します。

S2（出荷時の設定）：
S1の識別信号に加えて、アスペクト比4:3レターボックス信号の識別信号の入ったS2映像信号を出力します。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

- 映像が横方向に伸びてしまうときは、"S1"に設定してください。

フレームサーチ エキスパート

[初期設定→映像1→フレームサーチ]

オン：

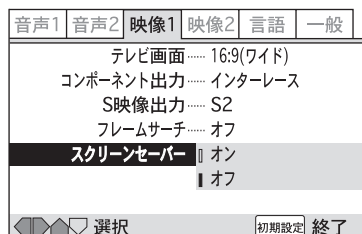
映像は一秒間が30フレームで構成されています。フレームは0～29の番号で表示されます。フレームサーチがオンのときは、一時停止中またはコマ送り中に画面表示ボタンを押すと、フレーム番号が表示されます。フレームサーチ(31ページ)するときはオンに設定してください。

オフ (出荷時の設定)：

フレーム番号を表示しません。フレームサーチはできません。

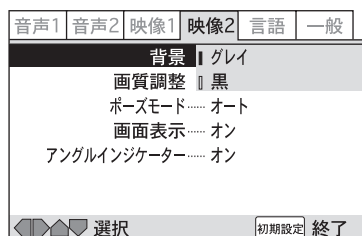
スクリーンセーバー エキスパート

[初期設定→映像1→スクリーンセーバー]

画面を保護するためのスクリーンセーバーのオンとオフを切り換えることができます。方向ボタンで"オン"または"オフ"を選んでENTERボタンを押してください。

オンのときは、何もボタンを押さない状態で約5分放置するとスクリーンセーバーが起動します。何かボタンを押すと元の画面に戻ります。

● 工場出荷時はオフに設定されています。

背景 [初期設定→映像2→背景]

ディスクが停止しているときの背景の色を選ぶことができます。方向ボタンで"グレイ"または"黒"を選んでENTERボタンを押してください。

● 工場出荷時はグレイに設定されています。

設定(画質調整1)

画質調整 [初期設定→映像2]

CRTテレビやプラズマディスプレイなど、あらかじめ登録されている画質の中から接続したテレビに合わせて画質を選ぶことができます。

各設定項目を細かく調整してお好みの画質にすることもできます。

- 再生中または一時停止中に操作すれば、映像を見ながら画質を調整することができます。
- 従来の4:3のテレビでDVDを再生しているときに画質調整画面を表示させると、画面が一時的に乱れることがありますが、故障ではありません。
- DVI-D映像出力端子に接続している場合は、この画質調整は反映されません。

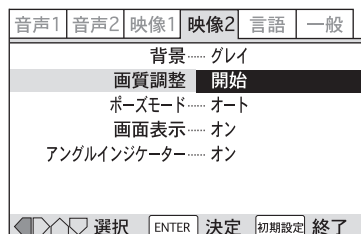
ピュアシネマモードについて

DVDの映像信号には次の2種類があります。

・「ビデオ素材」と言われる映像情報を毎秒30コマで記録した信号
・「フィルム素材」と言われる映像情報を毎秒24コマで記録した信号

フィルム素材である映画フィルムは毎秒24コマ(24Hz)で記録されています。ピュアシネマモードを使うと、毎秒24コマで記録された映像情報を毎秒60コマのプログレッシブ画面に変換する際に、ディスクに記録された処理情報をもとにオリジナルの映画フィルムに忠実な走査線を構成することにより、原画に近い鮮明な映像をお楽しみいただけます。ピュアシネマモードは通常は"Auto1"をお選びください。ディスクによっては、輪郭がギザギザになったりブレて見えることがあります。その場合は"Auto2"、"On"、または"Off"に変えてみてください。

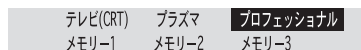
あらかじめ登録されている画質の中から選ぶには

1 方向ボタンで"開始"を選んでENTERボタンを押す。

2 方向ボタンで"ビデオメモリー選択"を選んでENTERボタンを押す。

ビデオメモリー選択
ビデオ設定

3 方向ボタンで設定を選ぶ。

接続したテレビに合わせて選んでください。

テレビ(CRT)　プラズマ　プロフェッショナル
メモリー1　メモリー2　メモリー3

テレビ(CRT)：
テレビ(CRT)に適した画質です。

プラズマ：
プラズマディスプレイに適した画質です。

プロフェッショナル：
本機による映像信号調整処理を抑えた、プロ用モニターに適した設定です。

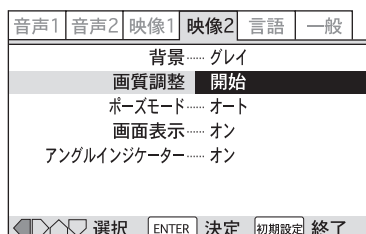
メモリー1/メモリー2/メモリー3：
お客様が次ページの手順でメモリーに登録した画質を呼び出すことができます。

4 ENTERボタンを押して終了する。

最後にENTERボタンを押さないと、設定が保存されません。

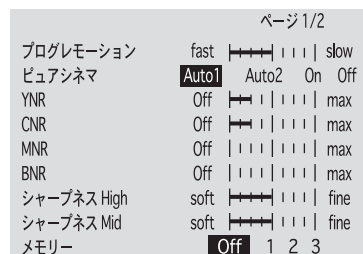
設定(画質調整2)

お好みの画質に調整するには

1 方向ボタンで"開始"を選んでENTERボタンを押す。

2 方向ボタンで"ビデオ設定"を選んでENTERボタンを押す。

3 方向ボタン(上下)で項目を選び、方向ボタン(左右)で設定を変える。

複数の項目を設定する場合は、**3**の操作をくり返してください。

● 画面表示ボタンを押すと、調整項目の一覧を画面に表示します。もう一度押すと元の表示に戻ります。

4 全ての調整が終わったら、ENTERボタンを押して終了する。

最後にENTERボタンを押さないと、調整した設定を保存できません。

調整した画質の設定を"メモリー"に登録するには

3 で全ての調整が終わったら、方向ボタン(上下)で"メモリー"を選び、方向ボタン(左右)で登録する番号(1、2または3)を選んでください。

ENTERボタンを押すと、画質調整が終了し、調整した設定がメモリーに登録されます。

- 設定は3つまで登録できます。既に設定が登録されている番号を選んだ場合は、新しい設定が上書きされます。
- メモリー機能を使わないときは"オフ"を選んでください。

プログレモーション
プログレッシブスキャン映像に効果を与える設定で、動画向き、静止画向きの映像に調整します。プログレッシブが出力されているときのみ、調整することができます。

ピュアシネマ
プログレッシブスキャン回路とDNRの動作をフィルム素材のDVDの再生に最適な設定にします。通常は"Auto 1"に設定しますが、映像が不自然なときは他の設定に変えてみてください。

YNR
輝度(Y)信号のノイズを軽減します。

CNR
色(C)信号のノイズを軽減します。

MNR
映像のモスキートノイズ(MPEG圧縮時に映像の輪郭部分に発生するノイズ)を軽減します。

BNR
映像のブロックノイズを軽減します。

シャープネスHigh
高域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

シャープネスMid
中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

ディテール
画像の輪郭を強調します。

白レベル
白色のレベルを調整します。

黒レベル
黒色のレベルを調整します。

黒セットアップ
黒色の浮きを補正し、立体感のある引き締まった映像を再現します。

ガンマ
画像の暗い部分の見え方を強調します。

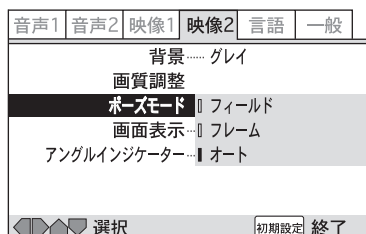
色あい
緑色と赤色のバランスを調整します。

色の濃さ
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

クロマディレイ
映像の輝度(Y)信号と色(C)信号のズレを調整します。プログレッシブ映像にのみ、効果があります。

設定(映像) [矢印(→)の順番に選択していくと、それぞれの設定画面になります]

ポーズモード エキスパート

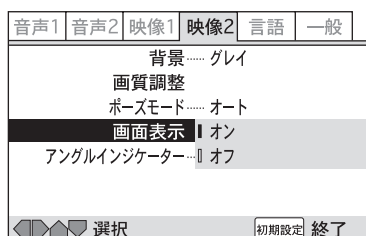
[初期設定→映像2→ポーズモード]

フィールド：
DVDを一時停止したときの画像のブレを無くします。

フレーム：
通常モードです。

オート (出荷時の設定)：
フィールドとフレームを自動的に切り換えます。

● ディスクによっては、"フィールド"を選択しても画像がブレることがあります。

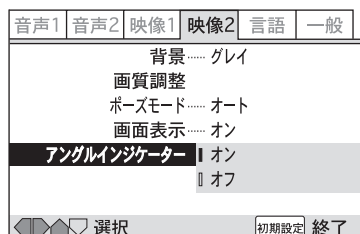
画面表示 エキスパート

[初期設定→映像2→画面表示]

画面表示を"オフ"にすると、早送り/早戻し中の速度(►► 1)などが画面に表示されなくなります。また、画面表示ボタンを押しても、画面には何も表示されません。

方向ボタンで"オン(表示)"または"オフ(非表示)"を選んでENTERボタンを押してください。

● 工場出荷時は"オン"に設定されています。

アングルインジケーター エキスパート

[初期設定→映像2→アングルインジケーター]

オン： 表示
オフ：表示しない

オンに設定すると、マルチアングルで記録された画面を再生するときに を表示しますので、マルチアングルの画面を再生しているかどうかがはっきりします。方向ボタンで"オン"または"オフ"を選んでENTERボタンを押してください。

● 工場出荷時は"オン"に設定されています。

設定(言語) [矢印(→)の順番に選択していくと、それぞれの設定画面になります]

画面表示言語

[初期設定→言語→画面表示言語]

初期設定画面などで使用する言語を切り換えることができます。方向ボタンで"日本語"または"English(英語)"を選んでENTERボタンを押してください。

● 工場出荷時は日本語に設定されています。

音声言語

[初期設定→言語→音声言語]

ディスクに入っている音声のうち、通常はどの言語の音声にするか選んでおくことができます。再生中に音声ボタンで音声言語を変えた場合でも、ディスクを交換したときは、この設定で選んだ言語になります。
方向ボタンで言語を選んでENTERボタンを押してください。

● 再生中は設定を変更できません。
● "日本語"と"英語"以外の言語を選ぶ場合は、65ページをお読みください。
● 選択した言語がディスクに記録されていないときは、そのディスクのオリジナルの言語が選択されます。
● 工場出荷時は日本語に設定されています。

字幕言語

[初期設定→言語→字幕言語]

ディスクに入っている字幕のうち、通常表示する字幕の言語を選んでおくことができます。再生中に字幕ボタンを押して字幕言語を変えた場合でも、ディスクを交換したときは、この設定で選んだ言語になります。
方向ボタンで言語を選んでENTERボタンを押してください。

● 再生中は設定を変更できません。
● "日本語"と"英語"以外の言語を選ぶ場合は、65ページをお読みください。
● 選択した言語がディスクに記録されていないときは、そのディスクのオリジナルの言語が選択されます。
● 工場出荷時は日本語に設定されています。

言語設定オート

[初期設定→言語→言語設定オート]

オン (出荷時の設定)：

音声と字幕を自動的に設定します。一般的な洋画のDVDを再生するときは音声はオリジナル言語、字幕は日本語が選択され、邦画のDVDの場合は音声は日本語、字幕はオフになります。

音声言語と字幕言語が同じとき、および字幕表示がオンのとき有効になります。

オフ：

"音声言語"と"字幕言語"で設定した言語になります。

● 再生中は設定を変更できません。

● "オン"に設定しても、ディスクによっては機能しないことがあります。

DVD言語 エキスパート

[初期設定→言語→DVD言語]

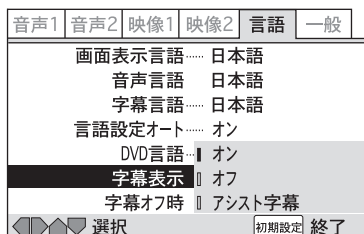
DVDによっては、同じ内容で言語のみ異なるディスクメニューを複数収録していることがあります。このようなディスクの場合、どの言語のメニューを表示するかを選択することができます。方向ボタンで言語を選んでENTERボタンを押してください。

● "字幕言語に連動"(出荷時の設定)を選ぶと、"字幕言語"で選択されている言語でメニューが表示されます。

● 再生中は設定を変更できません。

● "日本語"と"英語"以外の言語を選ぶ場合は、65ページをお読みください。

字幕表示 エキスパート

[初期設定→言語→字幕表示]

方向ボタンで項目を選んでENTERボタンを押してください。

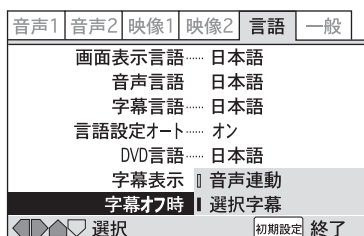
● 再生中は設定を変更できません。

オン（出荷時の設定）：
字幕を表示します。

オフ：
字幕を表示しません。ただし、ディスクによっては字幕をオフにできないことがあります。

アシスト字幕：
耳の不自由な方などのために場面の状況を説明するアシスト字幕を表示します。
ただし、そのディスクにアシスト字幕が収録されていない場合は、表示できません。

字幕オフ時 エキスパート

[初期設定→言語→字幕オフ時]

ディスクによっては、"字幕表示"を"オフ"に設定しても字幕を非表示にできないことがあります。
その場合に表示する字幕を選択します。方向ボタンで項目を選んでENTERボタンを押してください。

● 再生中は設定を変更できません。

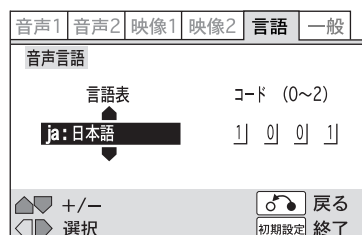
音声連動：
再生されている音声の言語で字幕を表示します。

選択字幕（出荷時の設定）：
"字幕言語"で選択されている言語で字幕を表示します。

日本語/英語以外の言語を選ぶには

1. "他"を選んでENTERボタンを押す。

言語選択画面が表示されます。

2. 言語を選ぶ。

66ページの言語コード表を使って、選択したい言語の入力コードを調べ、数字キーで4桁の入力コードを入力してください。

または、方向ボタン(上下)で言語表の選択肢をスクロールさせて、選択したい言語コードの上にカーソルを移動してください。

3. ENTERボタンを押す。

選択した言語に設定されます。

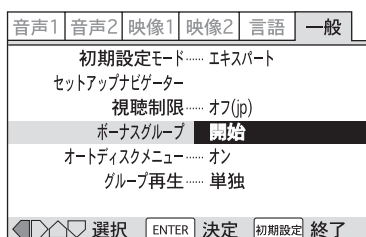
言語コード表

言語名(言語コード)	入力コード
Japanese (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Chinese (zh)	2608
Dutch (nl)	1412
Portuguese (pt)	1620
Swedish (sv)	1922
Russian (ru)	1821
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712

言語名(言語コード)	入力コード
Guarani (gn)	0714
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612

言語名(言語コード)	入力コード
Pashto, Pushto (ps)	1619
Quechua (qu)	1721
Rhaeto-Romance (rm)	1813
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

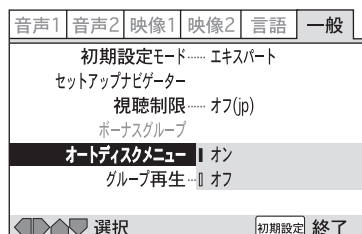
ボーナスグループ エキスパート

[初期設定→一般→ボーナスグループ]

DVDオーディオの中には、「ボーナスグループ」というグループを持つものがあり、ボーナスグループを再生しようとすると、4桁のキーナンバーの入力を求める画面が表示されます。この設定項目では、キーナンバーをあらかじめ入力しておくことができます。

ボーナスグループが収録されたDVDオーディオのディスクをセットして、数字キーでキーナンバーを入力してください。

- 再生中は設定できません。
- ディスクを取り出したり電源を切ると、入力したキーナンバーの記憶は消去されます。

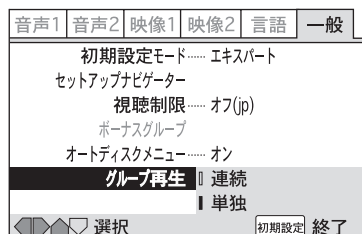
オートディスクメニュー エキスパート

[初期設定→一般→オートディスクメニュー]

オン (出荷時の設定):
ディスクがセットされると自動的にメニュー画面を表示します。

オフ:
メニュー画面を自動的に表示しません。メニュー画面を表示させたいときは、メニューボタンを押してください。

- ディスクによっては機能しないことがあります。

グループ再生 エキスパート

[初期設定→一般→グループ再生]

連続:
すべてのグループを続けて再生します。

単独 (出荷時の設定):
選択したグループだけを再生します。

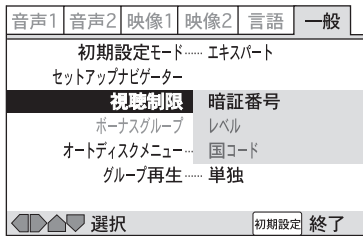
- ディスクによっては、メニュー画面を使って再生するグループを選択できます。
- "単独"に設定した場合、ディスクのメニュー画面を使ってすべてのグループを再生しようとしても、1つのグループしか再生しないことがあります。
- "単独"に設定した場合、グループをまたいで早送り/早戻し/頭出しすることはできません。
- "連続"に設定しても、ディスクのメニュー画面から再生を始めたときは、すべてのグループを再生することができません。

視聴制限（パレンタルロック）

暴力シーンなど、子供に見せたくない映像に視聴制限(パレンタルロック)をかける機能です。本機は、視聴制限コードが記録されているディスクに対して、視聴を制限することができます。詳しくはディスクの説明書をお読みください。

初めて視聴制限機能を使う場合は、まず暗証番号を登録してください。

暗証番号を登録するには

[初期設定→一般→視聴制限→暗証番号]

● 暗証番号を入力しないとレベルの変更はできません。
暗証番号は忘れないように控えておいてください。
暗証番号を忘れてしまった場合は、出荷時の設定に戻してから再度暗証番号を登録してください。

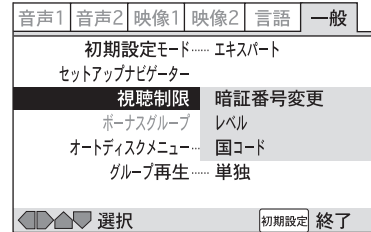
1. 方向ボタンで"暗証番号"を選んで、ENTERボタンを押す。
暗証番号登録画面が表示されます。

2. 数字キーで4桁の暗証番号を入力する。

3. ENTERボタンを押す。
暗証番号の登録が完了し、初期設定画面に戻ります。

● 暗証番号を登録すると、初期設定画面の選択肢が"暗証番号"から"暗証番号変更"に変わります。また、"レベル"と"国コード"を選択できるようになります。

視聴制限のレベルを変更するには

[初期設定→一般→視聴制限→レベル]

1. 方向ボタンで"レベル"を選んで、ENTERボタンを押す。
暗証番号入力画面が表示されます。

2. 数字キーで4桁の暗証番号を入力してENTERボタンを押す。
レベル変更の画面が表示されます。
出荷時は"オフ"(無制限)に設定されています。

3. 方向ボタン(左右)でレベルを選ぶ。

● 数字が小さいほど制限が厳しくなります。

4. ENTERボタンを押す。
レベルの変更が終わり、初期設定画面に戻ります。

● レベルを選んでから30秒以内にENTERボタンを押さなかった場合は、レベルは変更されません。

● 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。その場合は、数字キーで4桁の暗証番号を入力してENTERボタンを押してください。

暗証番号を変更するには

[初期設定→一般→視聴制限→暗証番号変更]

1. 方向ボタンで"暗証番号変更"を選んで、ENTERボタンを押す。

2. 数字キーで現在の暗証番号を入力してENTERボタンを押す。

3. 数字キーで新しい暗証番号を入力してENTERボタンを押す。
新しい暗証番号に変更されます。

国コードを変更するには

[初期設定→一般→視聴制限→国コード]

視聴制限の基準は国によって異なります。出荷時は"日本"に設定されていますが、必要に応じて変更してください。

1. 方向ボタンで"国コード"を選んで、ENTERボタンを押す。

暗証番号入力画面になります。

2. 数字キーで4桁の暗証番号を入力してENTERボタンを押す。

3. 数字キーで4桁の入力コードを押す。

国コード表を使って、選択したい国の入力コードを調べ、数字キーで4桁の入力コードを入力してください。

または、方向ボタン(上下)でコード表の選択肢をスクロールさせて、選択したい国コードの上にカーソルを移動してください。

4. ENTERボタンを押す。

国コードの変更が終わり、初期設定画面に戻ります。

国コード表

国名	入力コード	国コード
アメリカ	2119	us
アルゼンチン	0118	ar
イギリス	0702	gb
イタリア	0920	it
インド	0914	in
インドネシア	0904	id
オーストラリア	0121	au
オーストリア	0120	at
オランダ	1412	nl
カナダ	0301	ca
韓国	1118	kr
シンガポール	1907	sg
スイス	0308	ch
スウェーデン	1905	se
スペイン	0519	es
タイ	2008	th
台湾	2023	tw
中国	0314	cn
チリ	0312	cl
デンマーク	0411	dk
ドイツ	0405	de
日本	1016	jp
ニュージーランド	1426	nz
ノルウェー	1415	no
パキスタン	1611	pk
フィリピン	1608	ph
フィンランド	0609	fi
ブラジル	0218	br
フランス	0618	fr
ベルギー	0205	be
ポルトガル	1620	pt
香港	0811	hk
マレーシア	1325	my
メキシコ	1324	mx
ロシア	1821	ru

ファンクションメモリー

よく変更する初期設定の項目を、5項目まで登録しておくことができます。

登録するには

1 初期設定ボタンを押して初期設定画面を表示させる。

2 方向ボタンを使って登録したい項目を選ぶ。

3 ファンクションメモリーボタンを押す。

登録すると、その項目の左側に"FM"が表示されます。複数の項目を選ぶときは、2と3をくり返してください。

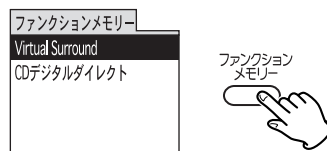
登録から削除したいときは、方向ボタンで"FM"が表示されている項目を選んでファンクションメモリーボタンを押してください。"FM"の表示が消えます。

● 6項目以上登録しようとすると、禁止マークが表示されます。不要な項目を削除してから登録してください。

● 以下の項目は登録できません。
  DTS出力
  SACD再生
  テレビ画面
  セットアップナビゲーター
  視聴制限
  ボーナスグループ
  グループ再生
  63〜65ページの言語に関する項目
  (画面表示言語は登録できます)

4 選択が終わったら初期設定ボタンを押して終了する。

使い方

1 初期設定が表示されていないときに、ファンクションメモリーボタンを押す。

登録した項目が表示されます。

● 何も登録されていないときは、「未登録です」が表示されます。

2 方向ボタン(上下)を使って項目を選び、ENTERボタンを押す。

その項目を含む初期設定画面が表示されます。方向ボタンとENTERボタンを使って設定を変更してください。

3 設定の変更が終わったらファンクションメモリーボタンを押して終了する。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない。

➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
➡ 本体の電源ボタンを押してオンにしてください。(24ページ)

リモコンで操作できない。

➡ 本体の電源をオンにしてください。(24ページ)
➡ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。(11ページ)
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から7メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。(11ページ)

テレビなどが誤動作する。

➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

雑音がする。

➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

画面が映らない

➡ テレビとの接続を確認してください。(14ページ)
➡ テレビの操作および設定を確認してください。

ディスクトレーを閉めても出てきてしまう。再生できない。

➡ ディスクを正しくセットしてください。ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。(24ページ)
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ DVDビデオの場合、本機ではリージョンNo.2またはそれを含むディスクしか再生できません。(8ページ)
➡ 本機の内部が結露している場合は、電源を入れて1、2時間放置してください。(74ページ)

禁止マークが画面に出る。ボタンを押しても反応しない。

➡ 禁止されている操作です。(9ページ)
➡ 続けてボタンを押すと、機械側が対応できずに禁止マークを表示することがあります。ボタンを押すときは、機械が反応するまで少しお待ちください。
➡ 映画などの冒頭部分(製作会社のロゴや注意事項など)の再生中は、スキップなどの操作を受け付けないことがあります。しばらくお待ちください。

設定内容が消える。

➡ 電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードは必ず本体の電源ボタンを押して電源をオフにしてから抜いてください。

初期設定画面の右上に"DVD"マークが表示される。

➡ SACDやCD、ビデオCD、MP3ファイルを記録したディスクが入っているときに、DVDでしか機能しない項目を設定しようとすると表示されます。(47ページ)

初期設定画面の設定項目が取扱説明書より少ない。

➡ 初期設定モードを"エキスパート"にしてください。(47ページ)

スピーカーから音が出ない。音が歪む。

➡ テレビ、アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。(12ページ)
➡ アンプなどの音量を調節してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 音声出力の設定を確認してください。(48〜52ページ)
➡ デジタル出力端子と接続しているときは、"デジタル出力"の設定を"オン"にしてください。(50ページ)
➡ 一時停止、早送り/早戻し、スロー再生中などは音が出ません。再生ボタンを押して通常の再生に戻してください。

スピーカーからマルチチャンネル音声が出力されない。

➡ "音声出力"の設定を"5.1チャンネル"にしてください。(52ページ)
➡ お使いのスピーカーに合わせて"スピーカー設定"を行ってください。(52ページ)
➡ ディスクのメニュー画面、またはリモコンの音声ボタンでマルチチャンネルの音声(5.1chなど)を選んでください。(26、28ページ)

音量が小さい。
各スピーカーからの音量バランスがおかしい。

➡ "ゲイン設定"で"可変"を選ぶと、ほとんどの場合、出力レベルが"固定"よりも小さくなります。(54ページ)
➡ "ゲイン設定"で各スピーカーの出力レベルを調節してください。(54ページ)

デジタル音声を出力できない。

➡ "デジタル出力"の設定を"オン"にしてください。(50ページ)
➡ SACDはデジタル音声を出力できません。
➡ DVDオーディオの中にはデジタル音声を出力できないディスクがあります。また、DVDオーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません。(ドルビーデジタル、またはDTS音声はデジタル出力できます)
➡ DVDオーディオの192/176.4kHz音声はデジタル出力できません。

96/88.2kHz音声でデジタル出力できない。

➡ 初期設定画面の"リニアPCM出力"の設定を"ダウンサンプルオフ"にしてください。(49ページ)
➡ 著作権保護がされているディスクでは96/88.2kHz音声のデジタル出力が禁止されています。

DTS音声が出ない。

➡ 本機のデジタル出力端子をDTS音声に対応していない機器と接続しているときは、"DTS出力"の設定を"DTS▶PCM"にしてください。(49ページ)
または、音声ボタンを押して他の音声を選んでください。(28ページ)
➡ アンプ側の設定を確認してください。

画面が縦または横に伸びる。

➡ お使いのテレビに合わせてアスペクト比を選んでください。(56ページ)
➡ 本機とテレビをS1/S2映像端子で接続している場合は、テレビ側の信号処理により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。"S映像出力"の設定を"S1"にしてみてください。(57ページ)

フレームサーチできない。フレーム番号が表示されない。

➡ 初期設定画面で"フレームサーチ"を"オン"にしてください。(58ページ)
➡ フレームサーチはDVDでのみ行うことができます。
➡ フレーム番号はDVDの一時停止、またはコマ送り再生時に画面表示ボタンを押すと表示されます。(31ページ)

指定したフレームにサーチできない。
コマ送り再生時、フレームが抜けてしまう。

➡ 24コマフィルムのプログレッシブ映像が記録されているディスクの場合、24コマを0〜29フレームの30フレームにあてはめるため、本機では5フレームに1度の割り合いで指定したフレーム番号が抜けます。抜けているフレーム番号にサーチを行うと、次のフレーム番号にサーチされます。また、コマ送り再生中も指定したフレーム番号が抜けます。これは上記と同様に表示はフレーム番号が抜けますが動作上コマ落ちしているわけではありません。これは故障ではありません。

DVD映像をＶＴＲに録画したり、VTRを通して再生すると再生画像が乱れる。

➡ 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。
本機の映像出力は、VTRを通さずにモニターと直接接続してください。

DVD-RWを再生できない。

➡ 画面に"COPY PROTECT PROGRAM, UNPLAYABLE"と表示される場合は、一回だけ録画可能な映像素材を録画した部分であり、本機では再生できません。

DVD、CD、SACDで音量差を感じる。

➡ DVD、CD、SACDで音量差を感じることがありますが、これはディスクの記録方式の違いによるものです。

MP3ファイルを記録したディスクを再生することができない。画面に"UNPLAYABLE MP3 FORMAT"と表示される。

➡ MPEG1オーディオレイヤー3の、サンプリング周波数44.1kHzまたは48kHzの固定ビットレートで記録されたディスクしか再生できません。(9ページ)
➡ 拡張子「.mp3」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」をつけていてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。
➡ ファイルとフォルダーの合計が250を越えるディスクは、再生できません。
➡ 本機はマルチセッションに対応していません。再生するディスクがマルチセッションディスクのときは最初のセッションのみ再生します。
➡ ディスクの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れることがあります。

画面表示ボタンを押しても反応しない。早送りやスロー再生中に、速度(►► 1など)が表示されない。

➡ 初期設定画面の"画面表示"を"オン"に設定してください。(62ページ)

アングルインジケーターが画面に表示されない。

➡ 初期設定画面の"画面表示"と"アングルインジケーター"を"オン"に設定してください。マルチアングルで記録された場面を再生すると、画面にアングルインジケーターが表示されます。(62ページ)

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。
ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

用　語

D端子
デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号（Y/CB/CR）と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続する端子です。

DTS
Digital Theater Systemの略。DTSはデジタル・シアター・システム社が開発した劇場用のサラウンド方式で、独立した5.1チャンネルまでの音声を出力できます。圧縮率が低いため、ダイナミックレンジの広いサラウンド効果が得られます。
最適なサラウンド効果を得るためには、6本のスピーカー(フロント×2、センター×1，リア×2、サブウーハー×1)が必要です。

DVDビデオフォーマット記録
市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)でDVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
DVDレコーダーではこれをビデオモード記録といいます。

DVI
Digital Visual Interfaceの略。DDWGが策定したデジタルディスプレイインターフェース規格です。ビデオ信号をデジタル伝送することができます。

GUI
Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

HDCP
High-bandwidth Digital Content Protectionの略。DVI用の映像向け暗号化処理方式で、映像コンテンツの違法コピーに対する保護を目的としています。暗号化された信号を受信するには、HDCP対応のDVI入力が装備されたディスプレイが必要です。

MP3
MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データのことです。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

SACD
CDの規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACDには1層ディスク、2層ディスクとハイブリッドディスクの3種類があります。ハイブリッドディスクは、SACDとCDの両方の構造を持ちあわせています。

S1映像出力
S1とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)の識別信号の入ったS映像信号です。

S2映像出力
S1に加えアスペクト比4:3レターボックス信号の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

5.1ch
フロント左/右、センター、サラウンド左/右の5チャンネルに低音域専用の0.1チャンネルを加えたマルチチャンネル音声のことです。ドルビーデジタル、DTS、またはDVDオーディオといったサラウンドシステムで採用されています。

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。

インターレース（飛び越し走査）
映像の1画面を半分ずつ2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、次に偶数番目の走査線を描いて1画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。

コンポーネント映像出力
Y/CB/CRの3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限（パレンタルロック）
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限が設けられているものがあります。本機は、視聴制限コードが記録されているディスクに対して、視聴を制限することができます。

静止画（スライドショー、ブラウザブル静止画）
DVDの中には、音声や動画だけでなく静止画が入っているものがあります。DVDオーディオの静止画には2種類あります。スライドショーは、ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。ブラウザブル静止画は、プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます。
また、ブラウザブル静止画では、その静止画の番号(ページ)を指定して見たい静止画を探すこともできます。
なお、DVDビデオの静止画はスライドショーのみです。

用　語

ダイナミックレンジ
ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル(dB)単位で測定されます。
本機のオーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)をオンにしてダイナミックレンジを圧縮すると、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

ドルビーデジタル
ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。
本機でドルビーデジタル5.1ch対応のソフトを再生すると、独立した5.1チャンネルのサラウンドをお楽しみいただけます。最適なサラウンド効果を得るためには、6本のスピーカー(フロント×2、センター×1，リア×2、サブウーハー×1)が必要です。

ビデオレコーディングフォーマット記録
映像、および音声信号をDVD-RWレコーダーでDVD-RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。(*即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます)
DVDレコーダーではこれをVRモード記録といいます。VRモードには、「標準モード」とよばれる標準の画質で録画するモード(録画時間：2時間)と、「マニュアルモード」とよばれる画質、および録画時間を自由に設定して録画するモード(録画時間：1～6時間)があります。

プレイバックコントロール(PBC)
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。

プログレッシブ(順次走査)
映像の1画面を2回に分けずに1画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像をご覧になれます。

ボーナスグループ
DVDオーディオの中には、4桁の番号(キーナンバー)を入力することによってアクセス可能となる、「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するものがあります。ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れますので、ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力してください。また、前もって本機の初期設定画面でキーナンバーを設定しておくこともできます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影し、その中の1つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですが、すべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば、見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声(最大8)が記録されているものがあります。その中からお好きな音声を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の字幕(最大32)が記録されているものがあります。その中からお好きな字幕を選んで楽しめる機能です。

リージョンNo.
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は**2**です。

リニアPCM
PCMはPulse Code Modulationの略でCDなどのデジタル音声のことをいいます。リニアPCMはDVDの音声記録方式の1つで、圧縮していないPCM信号のことです。サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

仕　様

形式

DVDビデオ、DVDオーディオ、スーパーオーディオCD、CD、ビデオCD、DVD-RW、MP3ファイル

一般

電源 . . . . 100V AC 50-60Hz
消費電力 18W
外形寸法(W x H x D) 442mmx129mmx303mm
質量 7.2kg
許容動作温度. . . . . +5℃〜+35℃
許容動作湿度. . . . . 5%〜85%(結露のないこと)
許容保管温度 . . . . −20℃〜+55℃

映像出力

S1/S2映像出力
　Y出力レベル. 1 Vp-p(75Ω)
　C出力レベル . . . . 286 mVp-p(75Ω)
　出力端子 . . . . S端子
映像出力(2系統)
　出力レベル. . . . . 1 Vp-p(75Ω)
　出力端子. . . . . RCA端子
コンポーネント映像出力(Y、CB/PB、CR/PR)
　Y出力レベル. 1 Vp-p(75Ω)
　CB/PB、CR/PR出力レベル . . . . 0.7 Vp-p(75Ω)
　出力端子. . . . . RCA端子
D1/D2端子(Y、CB/PB、CR/PR)
　Y出力レベル. 1 Vp-p(75Ω)
　CB/PB、CR/PR出力レベル . . . . 0.7 Vp-p(75Ω)
　出力端子 . . . . D端子
DVI-D端子(HDCP対応デジタルRGB)
　出力端子. . . . . DVID 24pin
　TMDS準拠(シングルリンクのみ)

音声出力

アナログ音声出力端子
(5.1チャンネル・RCA1系統+2チャンネル・RCA1系統)
　最大出力レベル
　2.0 Vrms(1kHz、フルスケール)
　規定出力レベル
　200 mVrms(1kHz、フルスケール−20dB)

アナログ音声出力端子・出力特性
　周波数特性 . . . . 4Hz〜88kHz
　(DVDオーディオ、192kHz)
　S/N比. . . . 125dB(DVDオーディオ、1kHz、JEITA)
　ダイナミックレンジ 110dB
　(DVDオーディオ、1kHz、JEITA)
　歪率. . 0.00095%(DVDオーディオ、1kHz、JEITA)
　ワウ・フラッター . . . . 測定限界以下
　(±0.001% W.PEAK, JEITA)

デジタル出力

光デジタル出力. . 光デジタル端子×1、−15〜−21dBm
同軸デジタル出力 . . . . . . RCA端子×1、0.5 Vp-p/75Ω

その他の端子

RS-232C端子 D-Sub9ピン

付属品

電源コード×1
リモコン(RC-929)×1
リモコン用乾電池(単3)×2本
オーディオビデオケーブル(RCA)×1本
取扱説明書×1
保証書×1

JEITAは電子情報技術産業協会規格に定められた測定法によるものです。

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

ブロック・ダイアグラム

DIGITAL AUDIO OUTPUT
VIDEO OUTPUT
AUDIO OUTPUT
OPTICAL
COAXIAL
Composite Video
S-Video
Component
D1/D2
DVI-D
Front1 Lch
Front1 Rch
Front 2 Lch
Front 2 Rch
Surround L ch
Surround R ch
Center
Sub Woofer
VIDEO Encoder
HDCP-DVI Transmitter
D/A Converter
DSD Filter
D/A Converter
DSD Filter
D/A Converter
DSD Filter
INTERLACE to PROGRESSIVE Enhancer
I/P Enhancer & RGB Converter
DVD Audio Decoder
SACD Decoder
MPEG2 Decoder
DVD DSP
Servo DSP
System & DSP Control MPU
SACD CD・VCD DVD
Multi Disc Loading Mechanism
Interface & Digital Filter Control MPU

保証とアフターサービス

■保証書

この製品には保証書が添付されています。
保証書は、販売店が所定事項を記入してお渡しいたします。「販売店名・お買い上げ日」など、記載事項をお確かめのうえ、お受け取りください。また、保証内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より１年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

72ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
　　　　測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費等が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
　　　　その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：DVDプレーヤー　DV-15
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

ティアック エソテリック カンパニー
〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

お客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜12:00/13:00〜17:00です。

お客様相談室

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

http://www.teac.co.jp/av
PRINTED IN JAPAN 0903·MA-0834A